

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-5

< 第11週 >

伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い / その他最新動向



注目すべき感染症
P.6-8

< インフルエンザ >

第5週以降減少が続いていたが、第11週は第10週に引き続いて2週連続で増加した



病原体情報
P.9-11

インフルエンザウイルス 2010/11シーズン



速報
P.12-13

震災後の東北地域を中心とした春シーズンのツツガムシ病に関する注意



海外感染症情報
P.14-17

インフルエンザ / 鳥インフルエンザ - インドネシアにおける状況 / 鳥インフルエンザ - エジプトにおける状況



感染症の話
P.18

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(11週)
P.19-24



11週のデータ
P.25-37



発生動向総覧

< 第11週コメント > 3月23日集計分

全数報告の感染症

注意: これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

1類感染症

報告なし

2類感染症

結核277例

3類感染症

細菌性赤痢6例

菌種: *S. flexneri*(B群)2例__感染地域: 国内(都道府県不明)1例、インド1例

菌種: *S. sonnei*(D群)4例__感染地域: 広島県2例、国内(都道府県不明)1例、ベトナム/カンボジア1例

腸管出血性大腸菌感染症9例(有症者4例、うちHUSなし)

感染地域: 国内9例

国内の感染地域: 東京都2例、宮崎県2例、茨城県1例、静岡県1例、奈良県1例、広島県1例、福岡県1例

年齢群: 7歳(1例)、10代(1例)、20代(1例)、40代(4例)、60代(1例)、90代(1例)

血清型・毒素型: O91 VT1(2例)、O157 VT1・VT2(1例)、O157 VT2(1例)、O157 VT不明(1例)、その他・不明(4例)

累積報告数: 159例(有症者87例、うちHUS 4例. 死亡なし)

4類感染症

A型肝炎1例

感染地域: 国内(都道府県不明)

デング熱3例

感染地域: タイ1例、インドネシア1例、タンザニア1例

マラリア1例

三日熱__感染地域: インド

レジオネラ症3例(肺炎型2例、無症状病原体保有者1例)

感染地域: 宮城県1例(津波に関連)、茨城県1例、国内(都道府県不明)1例

年齢群: 60代(1例)、80代(2例)

* 震災以降、被災地での感染例が計2例(宮城県2例、60代1例、70代1例)が報告されている。

レプトスピラ症1例

感染地域: 国内(都道府県不明)__感染源: 不明

5類感染症

アメーバ赤痢9例(腸管アメーバ症7例、腸管外アメーバ症2例)

感染地域: 東京都3例、北海道1例、栃木県1例、国内(都道府県不明)4例

感染経路: 経口感染4例、性的接触1例(異性間・同性間不明)、その他・不明4例

急性脳炎1例 ロタウイルス__年齢群: 1歳

クロイツフェルト・ヤコブ病2例
孤発性プリオン病古典型2例

劇症型溶血性レンサ球菌感染症3例
年齢群: 50代(1例)、60代(1例)、70代(1例)、死亡)

後天性免疫不全症候群9例(無症候8例、その他1例)
感染地域: 国内8例、国内・国外不明1例
感染経路: 性的接触8例(異性間2例、同性間6例)、不明1例

ジアルジア症1例 感染地域: インド

梅毒7例(早期顕症I期1例、早期顕症II期1例、晩期顕症1例、無症候4例)

破傷風1例 感染地域: 宮崎県
年齢群: 60代
* 震災以降、被災地での感染例が計6例(宮城県4例、岩手県2例)
報告されている。年齢中央値60.5歳(56～82歳)、受傷から発病
までの平均日数10.3日である。

風しん6例(検査診断例4例、臨床診断例2例)
感染地域: 福岡県3例、愛知県2例、岐阜県1例
年齢群: 10～14歳(1例)、15～19歳(1例)、20～24歳(2例)、35～
39歳(1例)、40代(1例)

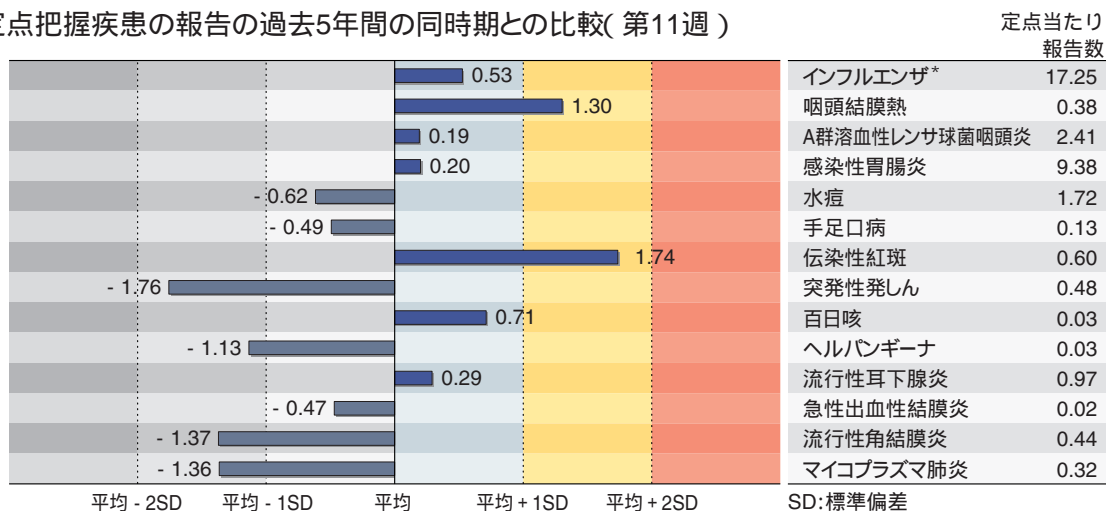
麻しん6例〔麻しん(検査診断例4例、臨床診断例2例)〕
感染地域: 国内6例
国内の感染地域: 東京都2例、栃木県1例、神奈川県1例、国内(都
道府県不明)2例
年齢群: 0歳(3例)、10～14歳(1例)、15～19歳(2例)
累積報告数: 77例〔麻しん(検査診断例42例、臨床診断例20例)、
修飾麻しん(検査診断例15例)〕

(補)他に Dengue 熱1例の報告があったが削除予定。また、2011年第10週までに診断されたものの報告遅れとして、細菌性赤痢1例〔菌種: *S. sonnei*(D群)__感染地域: タンザニア〕、E型肝炎1例〔感染地域(感染源): 岐阜県(猪肉)〕、エキノコックス症1例(多包条虫__感染地域: 北海道)、Dengue 熱1例(感染地域: インドネシア)、急性脳炎2例〔インフルエンザウイルスAH3亜型1例(8歳)、病原体不明1例(1歳)〕、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例〔30代(1例)、死亡)、40代(1例)、死亡)〕、風しん4例〔検査診断例3例、臨床診断例1例、感染地域: 大阪府2例、国内(都道府県不明)2例、年齢群: 10～14歳(1例)、25～29歳(1例)、30～34歳(1例)、35～39歳(1例)〕などの報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第11週)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。(*2009年のパンデミックの影響を受けています。)

インフルエンザ

定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別では山口県(48.87)、大分県(41.55)、愛知県(31.55)、岐阜県(30.59)、福岡県(29.81)、三重県(29.38)、広島県(27.71)、石川県(26.50)が多い。

小児科定点報告疾患

RSウイルス感染症の報告数は794例と第4週以降減少が続いている。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約76%を占めている。

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2週連続で減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別では富山県(2.07)、福井県(1.32)、兵庫県(1.05)が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では石川県(9.1)、山形県(5.6)、宮崎県(5.4)が多い。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では宮崎県(21.6)、福井県(18.7)、大分県(18.7)、熊本県(17.1)が多い。

水痘の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では沖縄県(5.9)、宮崎県(4.1)、山形県(3.3)、大分県(3.3)が多い。

手足口病の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では沖縄県(1.41)、和歌山県(0.68)、福井県(0.64)が多い。

伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では宮崎県(2.28)、山形県(1.93)、石川県(1.79)、佐賀県(1.61)が多い。

百日咳の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別では沖縄県(0.18)、徳島県(0.13)、栃木県(0.10)が多い。

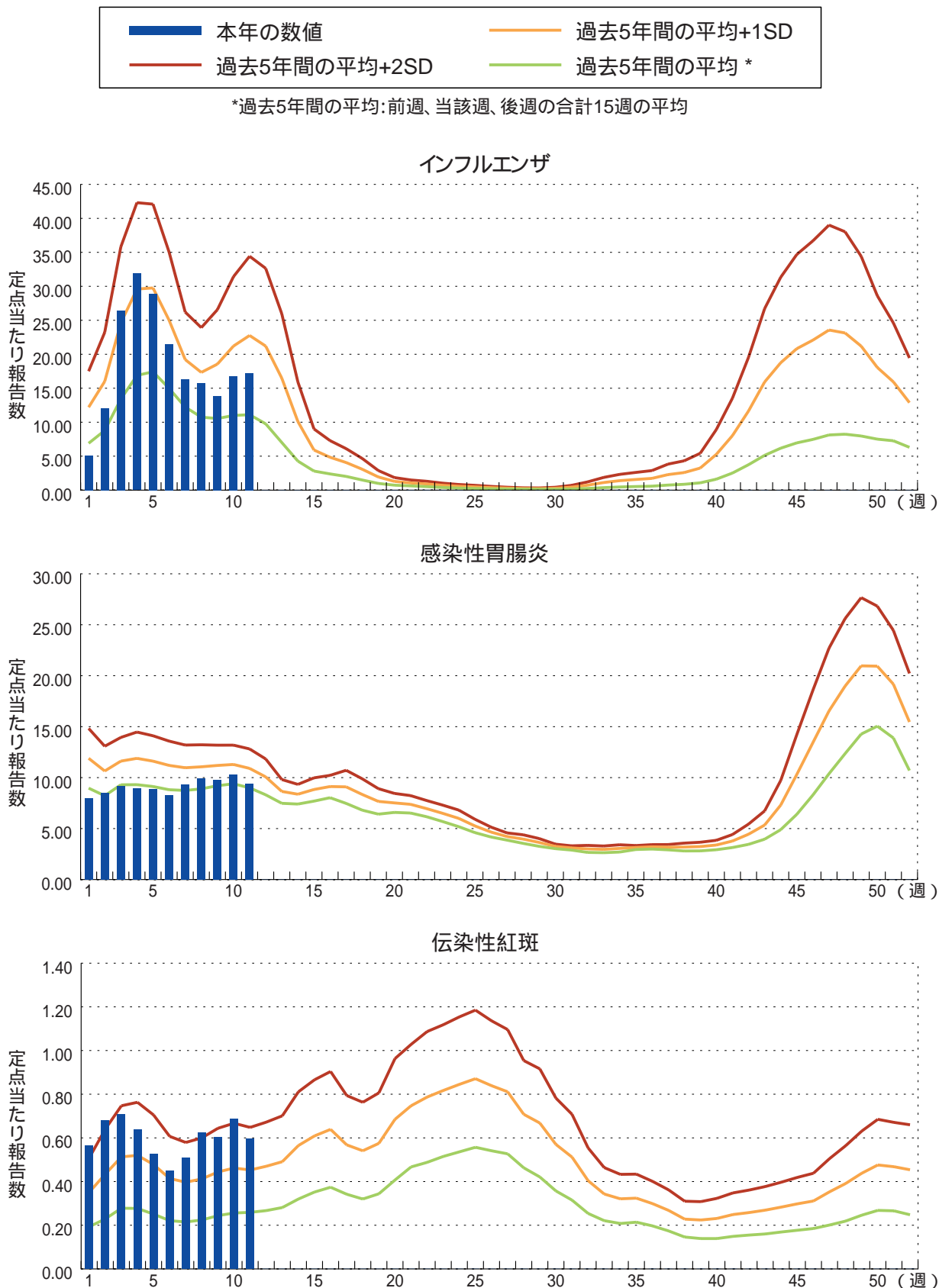
ヘルパンギーナの定点当たり報告数は減少した。都道府県別では滋賀県(0.47)、熊本県(0.17)、鹿児島県(0.13)が多い。

流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では長野県(4.24)、香川県(3.50)、新潟県(3.07)が多い。

基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別では埼玉県(2.44)、青森県(2.00)、沖縄県(1.71)が多い。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2011年第11週)
 青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





注目すべき感染症

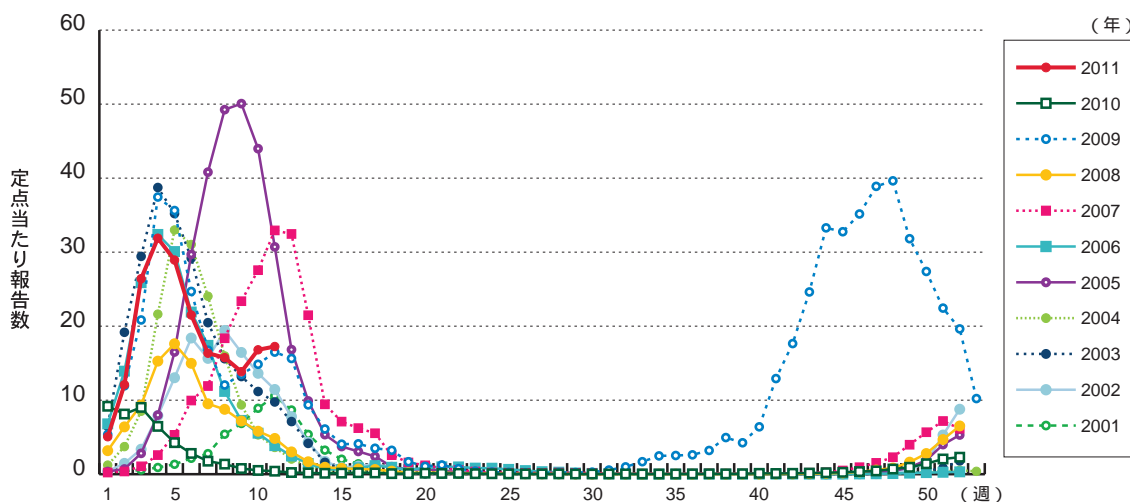
インフルエンザ

インフルエンザ(Influenza)は、インフルエンザウイルスを病原体とする急性の呼吸器感染症で、毎年世界中で流行がみられている。インフルエンザは、1～4日間の潜伏期間を経て、突然に発熱(38 以上の高熱)、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛などが出現し、鼻水・咳などの呼吸器症状がこれに続く。通常は1週間前後の経過で軽快するが、いわゆる「かぜ」と比べて全身症状が強いのが特徴である。

主な感染経路はくしゃみ、咳、会話等で口から発する飛沫による飛沫感染であり、他に接触感染もあるといわれている(CDCホームページ: <http://www.cdc.gov/flu/about/disease/spread.htm>)。インフルエンザの感染対策としては、飛沫感染対策としての咳エチケット、接触感染対策としての手洗いの徹底が重要と考えられるが、たとえインフルエンザウイルスに感染しても、全く無症状の不顕性感染例や臨床的にはインフルエンザとは診断し難い軽症例が存在する。

感染症発生動向調査では、全国約5,000カ所(小児科定点約3,000、内科定点約2,000)のインフルエンザ定点からの報告に基づいてインフルエンザの発生動向を分析している。インフルエンザの報告数は2011年第5週以降減少が続いていたが、第11週の報告数(定点当たり報告数17.25、報告数82,523)は第10週(定点当たり報告数16.81、報告数79,174)に引き続いて2週連続で増加した(図1)。都道府県別では山口県(48.87)、大分県(41.55)、愛知県(31.55)、岐阜県(30.59)、福岡県(29.81)、三重県(29.38)、広島県(27.71)、石川県(26.50)の順である。中部地方、中国地方、九州地方に定点当たり報告数の多い県が多く、31道府県で定点当たり報告数の増加が認められた。前週に引き続いて、岩手県内の一部(3保健所)、福島県の全ての保健所(8保健所)からの報告はなかった。宮城県は県内の全ての保健所(12保健所)から報告があったが、定点当たり報告数は1.5(報告数142)と少なく、震災被災地での状況を考慮すると実際の

図1. インフルエンザの年別・週別発生状況(2001～2011年第11週)



インフルエンザの発生状況をまだ反映できていない可能性が高い。岩手県、宮城県、福島県3県の周辺地域では、青森県、秋田県、茨城県、新潟県で報告数は減少したが、山形県、栃木県、群馬県では増加がみられた(図2)。

定点医療機関からの報告をもとに、定点以外を含む全国の医療機関をこの1週間に受診した患者数を推計すると約74万人(95%信頼区間: 65万人 ~ 83万人) (暫定値) となり、年齢群別では5 ~ 9歳約29万人(39.2%)、10 ~ 14歳約17万人(23.0%)、0 ~ 4歳約11万人(14.9%)、30代約5万人(6.8%)の順であった。0 ~ 14歳の年齢層で増加が続いている(図3)。2010年第36週以降これ

図2. インフルエンザの都道府県別定点当たり報告数の推移(2011年第9 ~ 11週)

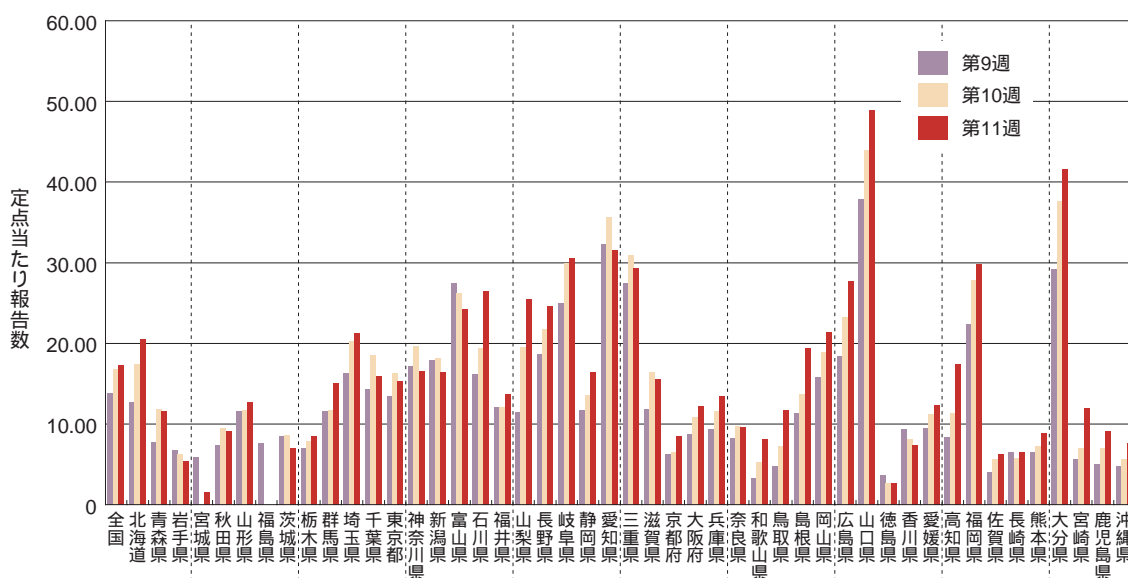
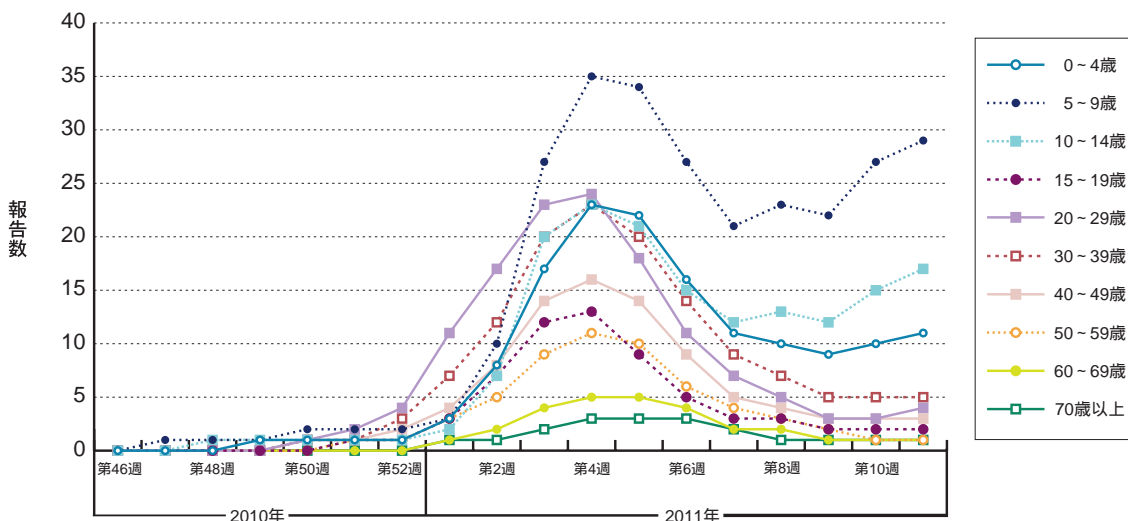


図3. インフルエンザ推計受診患者数(暫定値)の年齢群別・週別推移 (2010年第46週 ~ 2011年第11週)

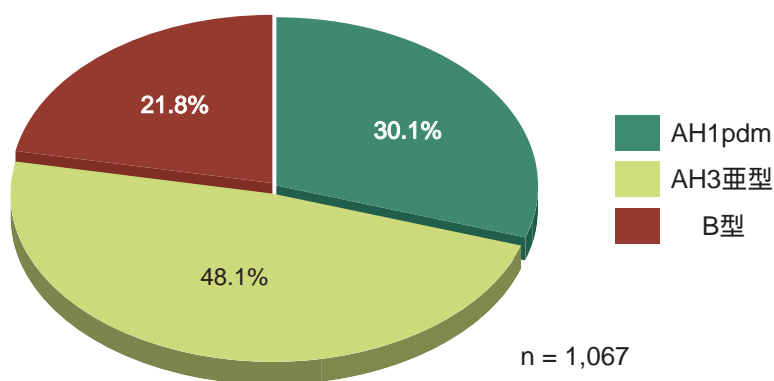


までの累積の推計受診患者数は約1,104万人(95%信頼区間 : 1,073万人～1,135万人) 暫定値) であり、その内訳は男性51.1%、女性48.9%、年齢群別では5～9歳24.5%、10～14歳14.8%、0～4歳13.2%、20代12.2%、30代12.1%の順となっている。

2010年第36週～2011年第11週までの期間中に国内では8,419件のインフルエンザウイルスの検出が報告されており、AH1pdm 5,261件、AH3亜型(A香港型)2,528件、B型630件とAH1pdmが最多を占めている。一方、2011年第7～11週までの直近の5週間では、総検出報告数1,067件中AH3亜型513件(48.1%)、AH1pdm 321件(30.1%)、B型233件(21.8%)であり、AH3亜型の検出が最多となっており、B型の検出割合も増加してきている(図4)。

インフルエンザの患者報告数は、3月に入って第10週、11週と2週連続で増加し、流行が再燃してきていることを示している。検出されているウイルスの状況をみると、AH3亜型が流行の中心となってきており、またB型の患者発生数も増加してきているものと推測される。残念ながら感染症発生動向調査では、被災地におけるインフルエンザの発生状況を的確に把握することは困難であるといわざるを得ないが、今回の東北地方太平洋沖地震で被災された方々の避難所等の集団生活施設においては、外部からのインフルエンザウイルスの持ち込み等によってインフルエンザの集団発生が既に生じており、また今後も発生する可能性が高い。特に避難所での生活によって体力が低下している高齢者がインフルエンザに罹患した場合、重症化する者が多くなることが危惧される。今後ともインフルエンザの発生動向には注意が必要である。

図4. インフルエンザウイルス検出報告割合(2011年第7～11週)
(病原微生物検出情報 : 2011年3月24日現在報告数)





病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

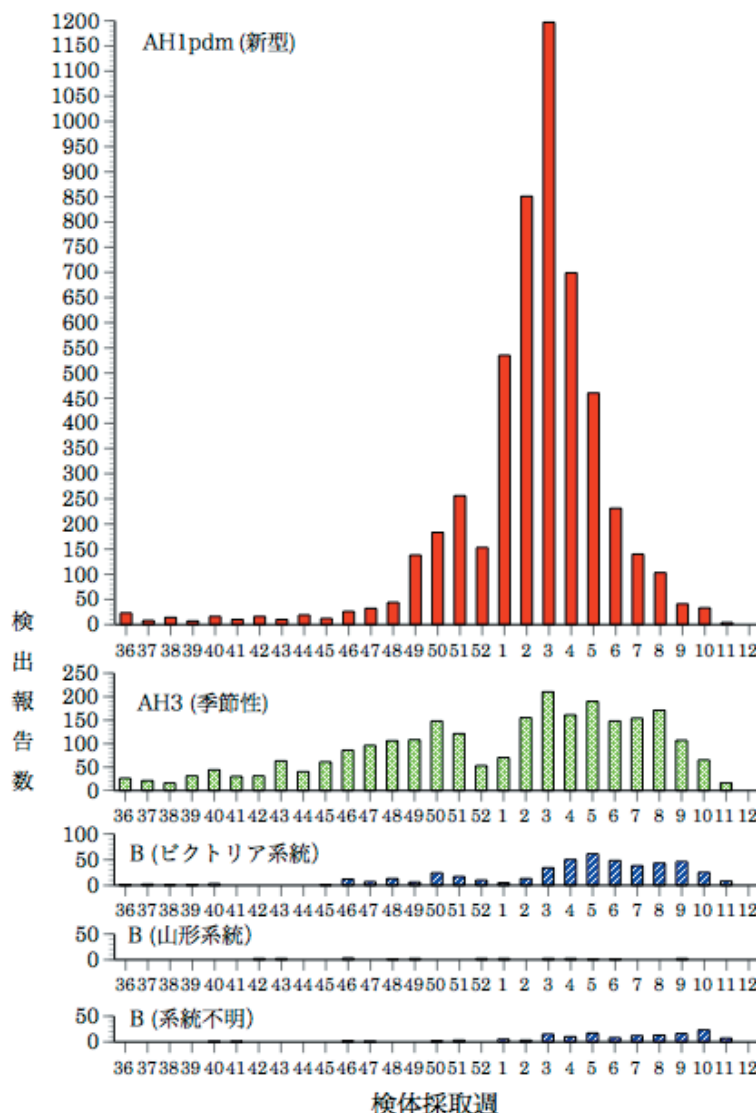
国立感染症研究所・感染症情報センターには各都道府県市の地方衛生研究所(地研)から「病原体個票」と「集団発生病原体票」が報告されています。これには感染症発生動向調査の定点およびその他の医療機関、保健所等で採取された検体から検出された病原体の情報が含まれています。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2011年3月24日現在報告分)

インフルエンザウイルス 2010/11シーズン

2010/11シーズン当初はAH3亜型の報告数がAH1pdmを上回っていたが、第49週以降、AH1pdmが増加した。AH1pdmは第3週をピークに減少し、第7週以降は再びAH3亜型の報告数がAH1pdmを上回っている。

週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2010年第36週～2011年第12週
(病原微生物検出情報：2011年3月24日現在報告数)



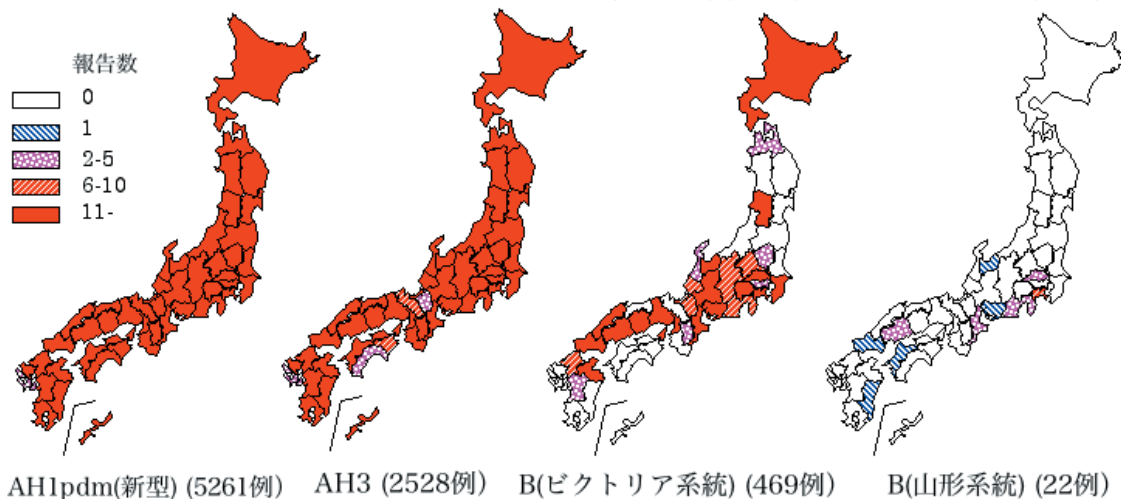
各都道府県市の地方衛生研究所からの分離・検出報告を図に示した
(データは現在週および過去の週に遡って追加が見込まれる)



Infectious Agents Surveillance Report

2010/11シーズンにはAH1pdmが全都道府県から5,261件、AH3亜型が全都道府県から2,528件、B型はビクトリア系統株が29都道府県から469件、山形系統株が10県から22件、系統不明株が28都道府県から139件報告されている。

都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2010年第36週～2011年第12週
(病原微生物検出情報：2011年3月24日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



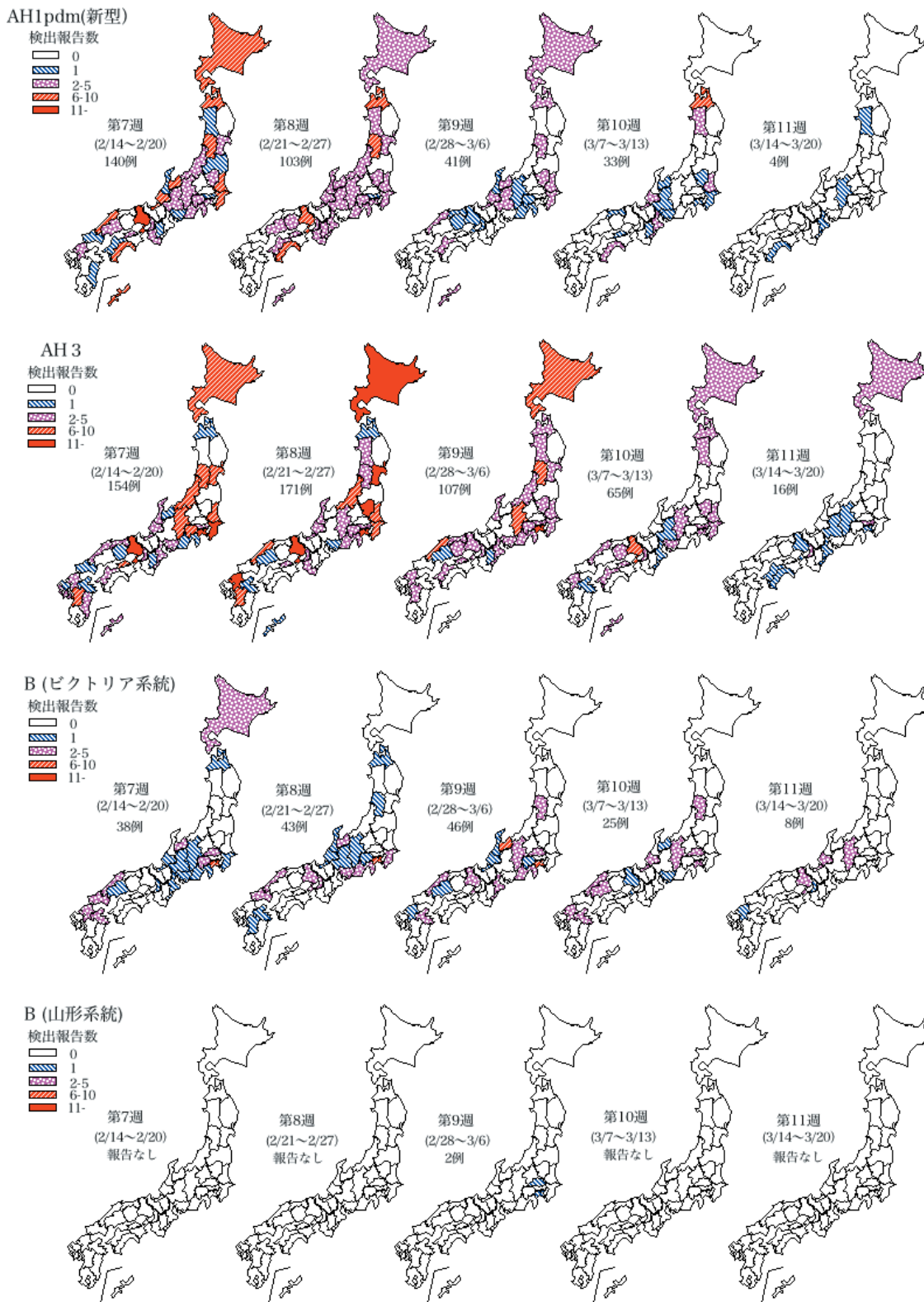
直近の2011年第7～11週の5週間ではAH1pdmが36都道府県から321件(青森県26件、茨城県、兵庫県各20件、高知県19件、山形県17件、福井県16件、栃木県、沖縄県各14件、北海道、千葉県、富山県、長野県各12件、島根県11件など)、AH3亜型が39都道府県から513件(神奈川県47件、北海道、兵庫県各40件、千葉県、福岡県各29件、長野県27件、栃木県、島根県各24件、宮城県、茨城県各22件、新潟県21件、東京都19件、香川県18件、熊本県16件、山形県15件、山梨県、大阪府各12件など)、B型はビクトリア系統株が23道府県から160件(神奈川県26件、富山県14件、山形県10件、埼玉県、長野県、兵庫県、島根県、大分県各9件、静岡県8件、福井県7件など)、山形系統株が2県から2件(埼玉県、神奈川県各1件)、系統不明株が18都道府県から71件(大阪府13件、東京都9件、兵庫県7件、茨城県6件、高知県5件、北海道、岐阜県、奈良県、沖縄県各4件など)報告されている。AH1pdm(321件)は分離・検出例全体(1,067件)の30%を占めている。

このうち、輸入例からの分離・検出が2件(AH1pdmハワイ、B型山形系統株トルコ)報告されている。

インフルエンザウイルス分離・検出速報は <http://idsc.nih.gov.jp/iasr/influ.html> を参照ください。

週別都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2011年第7週～第11週

(病原微生物検出情報：2011年3月24日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を検体採取週別に図に示した



震災後の東北地域を中心とした春シーズンのツツガムシ病に関する注意

2011(平成23)年3月22日、福島県東白川郡の60代の男性がツツガムシ病と診断され、翌23日、感染症法に基づく4類感染症としての届け出を行った。同時期、福島県内では東北関東大地震の発生直後であり、交通網の途絶、通信手段の制限等に加え、被災者の救護活動により、医療関係機関の関係者には過大な負荷がかかっている状況にあった。

患者は、3月6日より38 台の発熱、頭痛および倦怠感が出現し、近医で加療されたが改善せず、3月10日になり全身性の皮疹に気づいたため、3月11日(震災当日)に白河厚生総合病院皮膚科を受診した。初診時、38 台の発熱と頭痛があり、軀幹には辺縁が不鮮明な小指頭大程度までの暗赤色の播種状紅斑丘疹型中毒疹様の淡い紅斑が散在していた。ツツガムシ病が疑われる症状と皮疹であったため、刺し口を探したところ、右前腕に刺し口らしき暗赤色の紅斑がみられた。結果的には、発症の1週間前に川辺で草刈りの作業をしており、その際 *Orientia tsutsugamushi* に感染したものと考えられた。

一般検査の主なものは、白血球5,300/ μ l(好中球66.2%、リンパ球20.9%、単球12.5%、好酸球0.1%、好塩基球0.3%)、血小板14.7/ μ l、AST 61IU/l、ALT 64IU/l、LDH 394IU/l、 γ -GTP 100IU/l、CRP 3.72mg/dl、蛋白尿(+)であった。3月11日と同月17日の血清について大原総合病院附属大原研究所において間接免疫ペルオキシダーゼ反応(IP)による血清診断が実施され、*O.tsutsugamushi* に対する抗体価が有意に上昇していることが確認された。検出された抗体の中では血清型Karpに対する抗体価が最も高い値を示した。

自然災害発生後の避難所等で注意されている呼吸器系、消化器系感染症のほか、本症例のように季節的に患者発生があり、ピークをむかえる感染症には注意が必要である。ツツガムシ病は、発熱、発疹、刺し口の3徴が臨床的な特徴であるが、必ずしも3徴がそろわない症例もある。また、ツツガムシ病では、他の多くの発熱性感染症と異なり、テトラサイクリン系の抗菌薬が第一選択薬となる。疑った場合は、実験室における特異的検査の結果を待たず治療を開始しなければ重篤な状況に陥ることがあることを忘れてはならない。

今回、福島県内では未曾有の震災と原発事故への対応のさなかにあり、検体搬送もままならない状況にあったが、3月22日に白河市から福島市へ向かう緊急車両があるとの連絡を受け、それに検体を便乗させる形で大原研究所に搬送することができ、直ちに検査が実施されたものである。季節性のある感染症の対応を迅速に行うには、第一例目を速やかに確定し、アラートを発することが重要である。

ツツガムシ病の全国統計では秋から初冬に大きなピークがみられるが、雪解けの春先にのみ発生ピークがある地域や、福島県のように春と秋の二峰性ピークの流行をする地域もある。ツツガムシ病は、洪水などの土砂災害の後に患者が増加することが過去の事例からも報告されている。患者が発生した白河地域は、従来、晩秋の患者発生が多いことが知られていた。本症例は同地域では春に発生するKarp型の *O.tsutsugamushi* に震災前に感染していたが、同地域では地震により大きな土砂災害が発生しており、従来は多くはなかった春のツツガムシ病が今後多発する可能性がある。

本症例のツツガムシ病確定にいたる教訓から、福島県以外の被災地でも、もともと患者発生があったツツガムシ病発生の季節性の変化が起こる可能性があり、臨床現場での先入観のない対応が求められる。特に、ツツガムシ病の経験の少ない都市部からの多くの応援の医療関係者が

現地にいる現在、注意を要する。また、これまで患者発生がない、または少なかった地域においても自然環境の大きな変化によって患者の増加がありうることも全国的に留意すべき点である。最後に、現在のような非常時における検体搬送を含めた各関係機関の連携、バックアップ、情報発信などについての準備または柔軟な対応が必要であろう。

参 考

福島県におけるタテツツガムシによるつつが虫病

<http://idsc.nih.go.jp/iasr/31/363/dj3633.html>

白河厚生総合病院 竹之下秀雄

(IASR 2011年5月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

*WHOのEPR(Epidemic and Pandemic Alert and Response)による、感染症アウトブレイクニュース等を掲載しています。

インフルエンザ

2011年3月25日 - 更新130

【要約】

北半球の温帯地域の多くの国々では、インフルエンザの流行はすでにピークを過ぎ、その活動性は低下傾向にある。米国では肺炎とインフルエンザによる死亡レベルが閾値を上回っており、多くの州では未だにインフルエンザの活動性は広範な流行レベルにあると報告されているが、ほとんどの指標はインフルエンザの活動性が低下傾向にあることを示している。その一方で、インフルエンザ陽性検体のうちインフルエンザウイルスA(H1N1)2009の割合は増加し、現在は38%を占めている。ヨーロッパでは多くの国々でインフルエンザの流行はすでにピークを過ぎ、全ての国々でインフルエンザの活動性は中等度ないしは低いレベルとなっている。ヨーロッパにおける重症急性呼吸器感染症(SARI)の流行レベルは低下しているものの、東ヨーロッパの一部の国々ではベースラインを上回っている。ヨーロッパにおけるインフルエンザウイルスの主流は約70%を占めるインフルエンザウイルスA(H1N1)2009であり、約28%のインフルエンザウイルスB型がそれに続いている。北アフリカにおいては、チュニジアおよびアルジェリアでインフルエンザウイルスA(H1N1)2009とB型が同時流行している。流行しているインフルエンザウイルスの大部分は、現在のインフルエンザワクチン株と類似している。また、少数の山形系統のインフルエンザウイルスB型を除いて、現在の3価ワクチンにおける系統と抗原性において極めて類似している。

【北半球の温帯地域諸国】

北米:

北米におけるインフルエンザの活動性は、カナダと米国で低下している。カナダの多くの地域では、インフルエンザ活動性は低いレベルで安定している。インフルエンザ様疾患(ILI)の受診率は、第10週には受診患者1,000人当たり37.4人から25.3人に減少し、例年のレベルを下回っている。成人と小児のインフルエンザ確定症例の新規入院数も減少している。今シーズンではインフルエンザ陽性検体のうち、93%がインフルエンザウイルスA型であり、そのうち86%がインフルエンザウイルスA(H3N2)である。インフルエンザウイルスB型は1月下旬から相対的に上昇し、現在はインフルエンザ陽性検体のうち28%を占めている。インフルエンザによる死亡185例のうち78%は、9つの州から報告された65歳以上の入院症例である。成人のインフルエンザウイルスA型による死亡例のうち91%はインフルエンザウイルスA(H3N2)であり、インフルエンザウイルスB型による死亡例は3%以下である。米国において、ILIの受診率は3%まで低下しているが、いまだにベースラインを上回っている。122都市のサーベイランスによる肺炎とインフルエンザによる死亡レベルもいまだ閾値を上回っている。第10週にはインフルエンザによる小児死亡11例が報告され、2010年10月以降のインフルエンザによる小児死亡は計71例となった。第10週のインフルエンザ陽性検体の割合は27%から21%に減少した。米国においてシーズン初期ではインフルエンザウイルスA(H3N2)およびB型が主流であったが、インフルエンザウイルスA(H1N1)2009の割合が徐々に増加し、現在はインフルエンザウイルスA型の43%を占めるまでになった。メキシコからのインフルエンザの報告は少なく、インフルエンザウイルスB型が主流である。

ヨーロッパ :

ヨーロッパにおけるインフルエンザ関連指標は、前回の報告以降、全て減少傾向にある。WHO ヨーロッパ地域に属する53カ国中37カ国において、最近数週間のILIないしは急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスでピークを過ぎている。全ての国々でインフルエンザの活動性は中等度ないしは低いレベルであるが、ブルガリアにおいてのみインフルエンザの活動性が上昇している。欧州経済領域(EEA)の国々において、SARIは2010年12月末にピークを迎えたが、東ヨーロッパ諸国(グルジア、モルドバ、ルーマニア、セルビア、ウクライナ)では未だにシーズン前のレベルを上回っている。この地域において、最も報告が多いインフルエンザ重症化の危険因子は肥満である。第10週の定点医療機関におけるインフルエンザ陽性検体の割合は46%であった。今シーズンに報告された全てのインフルエンザのうち、インフルエンザウイルスA型が72%、インフルエンザウイルスB型が28%であった。また、インフルエンザウイルスA型の97%がインフルエンザウイルスA(H1N1)2009であり、3%がインフルエンザウイルスA(H3N2)であった。2010年第40週以降は北米と同様に、今シーズンのヨーロッパにおけるほとんど全てのインフルエンザウイルスA型は、現在の3価ワクチンに含まれるインフルエンザウイルスA(H1N1)2009およびA(H3N2)と抗原性において類似していた。インフルエンザウイルスB型の約93%が現在のワクチン株(ビクトリア系統)と同系統であり、残りは山形系統であった。

北アフリカと中東 :

北アフリカと中東諸国のインフルエンザの活動性は中等度レベルであり、インフルエンザウイルスA(H1N1)2009とB型が同時流行している。アルジェリアでは過去数週間のインフルエンザ確定症例は増加しており、3月7～12日の間にインフルエンザウイルスA(H1N1)2009による約60症例が報告されている。チュニジアでは過去数週間のインフルエンザの流行が持続しており、インフルエンザウイルスA(H1N1)2009とB型の同時流行による約30症例が報告されている。中東諸国では、オマーンとイランでインフルエンザの活動性が中等度レベルであり、両国から各々約50例のインフルエンザ確定例が報告されている。一方、パキスタンではインフルエンザ確定症例の報告は20症例以下まで減少している。

北アジア :

全体として、北アジア諸国のインフルエンザの活動性は低下している。中国北部ではILIの活動性は低いレベルのままであり、過去3シーズンのレベルを下回っている。日本のILIの活動性は数週間持続した低下傾向の後に軽度の上昇を認めている。韓国のILIの活動性は過去数週間持続した低下傾向の後は同レベルを維持している。インフルエンザウイルスA(H1N1)2009が流行の中心であり、インフルエンザウイルスA(H3N2)とB型が少数報告されている。

【熱帯地域諸国】

熱帯地域のインフルエンザの活動性は低下したままであり、インフルエンザウイルスB型とA(H1N1)2009が同時流行している。大部分は、中央アメリカ、カリブ地域、アンデス地域の国々から報告される散発的な流行である。しかし、グアテマラではインフルエンザ陽性検体の割合が、前週の6%と比べて2月28日～3月4日では37%まで増加している。エクアドルではインフルエンザ陽性検体の割合は、前週と比較してやや増加して約30%となっている。サハラ以南地域では、情報は限られているが、インフルエンザウイルスA型およびB型の低レベルの同時流行が報告されている。しかし、ケニアではインフルエンザの流行が拡大しており、前週の18例と比較して第

10週はインフルエンザウイルスB型により17例が、インフルエンザウイルスA(H1N1)2009により11例が、インフルエンザウイルスA(H3N2)により1例が報告されている。マダガスカルではインフルエンザウイルスB型を主とした低レベルの流行が報告されている。アジアの熱帯地域ではインフルエンザウイルスB型とA(H1N1)2009を主とした低レベルの流行が持続している。中国南部では定点医療機関におけるILIの受診率は、前週の3.3%から第10週は3%に減少している。これは、2008 ~ 2009シーズン(3.4%)、2009 ~ 2010シーズン(3.3%)に見られたレベルよりも低くなっている。

【南半球の温帯地域諸国】

南半球の温帯地域の国々の多くでインフルエンザの活動性は低下したままである。しかし、オーストラリア北部の熱帯地域を中心に、シーズン外の低レベルの流行が持続している。オーストラリアではインフルエンザウイルスA(H3N2)が流行の主流である。

【ウイルスサーベイランス】

第9 ~ 10週において、検査により確定されたインフルエンザウイルスA(H1N1)2009、A(H3N2)およびB型がアジアの多くの地域、ヨーロッパ、北アメリカから報告されているが、インフルエンザの活動性は全体的に低いレベルである。北半球と熱帯地域では、インフルエンザウイルスA(H1N1)2009およびいくつかの国々で同時流行しているB型によるインフルエンザとともにそれらの活動性は低下している。ヨーロッパでは、同時流行しているインフルエンザウイルスA(H1N1)2009およびB型によるインフルエンザの活動性は低下している。アジアではインフルエンザウイルスA(H1N1)2009が依然として主流であるが、アフリカではインフルエンザウイルスB型が若干優位でインフルエンザウイルスA(H3N2)と同時流行している。米国ではインフルエンザウイルスA(H1N1)2009、A(H3N2)およびB型が同時流行している一方、カナダではインフルエンザウイルスA(H3N2)が流行の主流である。南半球ではインフルエンザの活動性は低く、インフルエンザウイルスA(H1N1)2009、A(H3N2)およびB型がいくつかの国々から検出されている。2010 ~ 2011シーズンに性状が解析されたインフルエンザウイルスのほとんどすべては、WHOが2010 ~ 2011シーズンに北半球に対するインフルエンザワクチンとして推奨したウイルス株と抗原性は類似している。

【FluNet報告】

第8 ~ 10週(2011年2月27日 ~ 3月12日)において、71の国々・地域の国家インフルエンザセンター(NIC)のFluNetへの報告によれば、インフルエンザ陽性検体総数13,496のうち、9,376(69.5%)検体はインフルエンザウイルスA型、4,117(30.5%)検体はインフルエンザB型であった。インフルエンザウイルスA型のうち、76.7%はインフルエンザウイルスA(H1N1)2009、23.3%がインフルエンザウイルスA(H3N2)であった。

鳥インフルエンザ - インドネシアにおける状況

2011年3月25日 - 更新2

インドネシア保健省は、鳥インフルエンザウイルスA(H5N1)亜型の新たなヒト感染症例を報告した。

症例は西ジャワ州ブカシ市(Bekasi City, West Java Province)の2歳女児で、3月2日発症、3月3日クリニックに入院、3月9日病院に紹介入院し、現在は回復している。

女児の母親は、この女児が発症する1日前に鳥インフルエンザウイルスA(H5N1)亜型の感染により死亡している。(3月14日更新 : IDWR2011年第9号参照)

女児は、母親と共に生きた家禽が売られている市場を訪問したことが確認されており、疫学調査が進められている。

検査室診断により、鳥インフルエンザウイルスA(H5N1)亜型の感染が確定された。

インドネシアではこれまでに175例が確定診断され、そのうち144例が死亡している。

鳥インフルエンザ - エジプトにおける状況

2011年3月29日 - 更新48

エジプト保健省は、鳥インフルエンザウイルスA(H5N1)亜型の新たな3例のヒト感染症例を確認したと発表した。

1例目は、スエズ行政区(Suez Governorate)の32歳男性で、3月8日発症、3月12日入院し、3月13日に死亡した。

2例目はギザ行政区(Giza Governorate)の28歳女性で、3月8日発症、3月10日入院し、現在状態は安定している。

3例目は、ベヒラ行政区(Behira Governorate)の4歳男児で、3月5日発症、3月7日入院、回復して3月12日に退院した。

疫学調査の結果、これらの症例には鳥インフルエンザの感染が疑われた家禽への曝露が確認された。

これらの症例は、世界インフルエンザサーベイランスネットワーク(GISN)の国家インフルエンザセンターであるエジプト中央公衆衛生研究所で確定診断された。

エジプトではこれまでに133例が確定診断され、そのうち45例が死亡している。



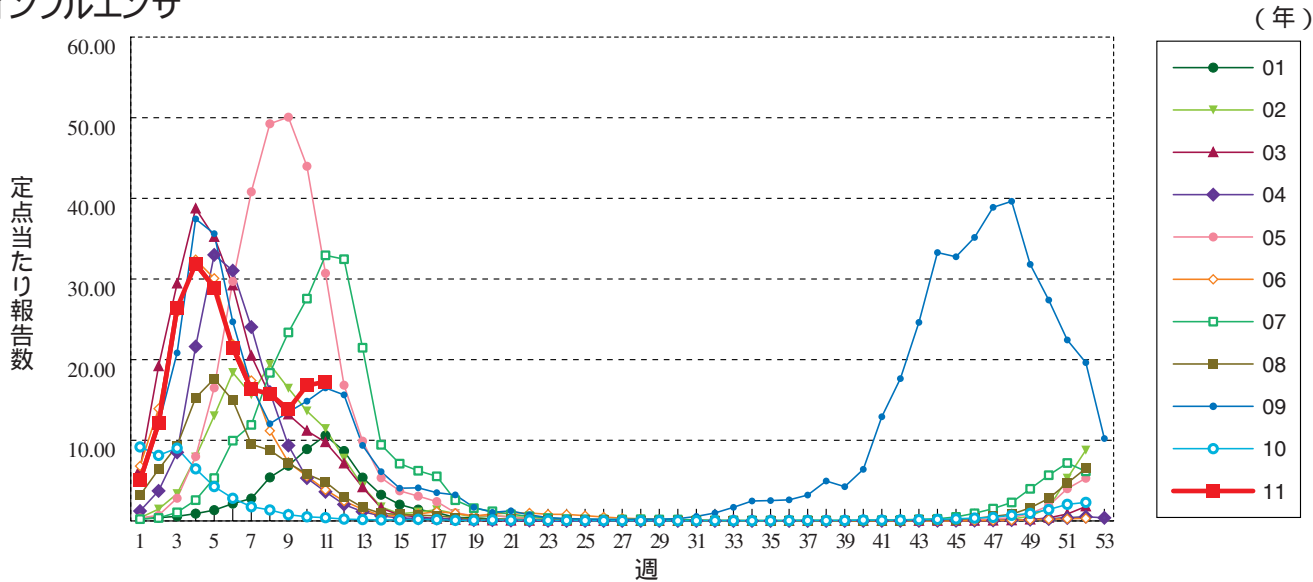
感染症の話

今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

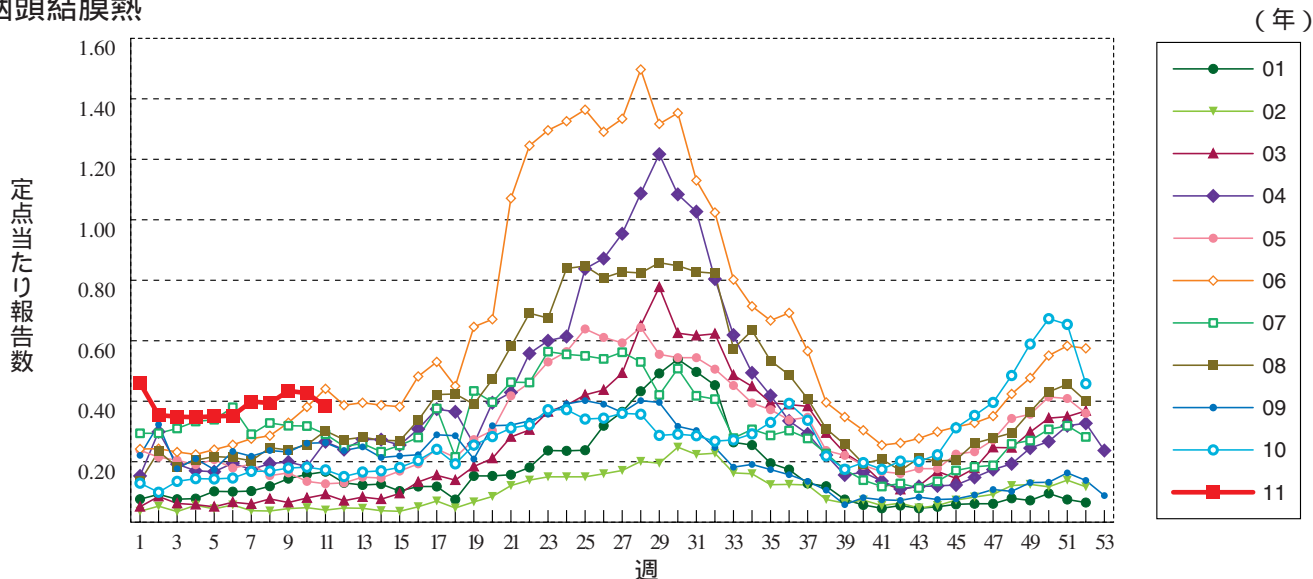


グラフ総覧(11週)

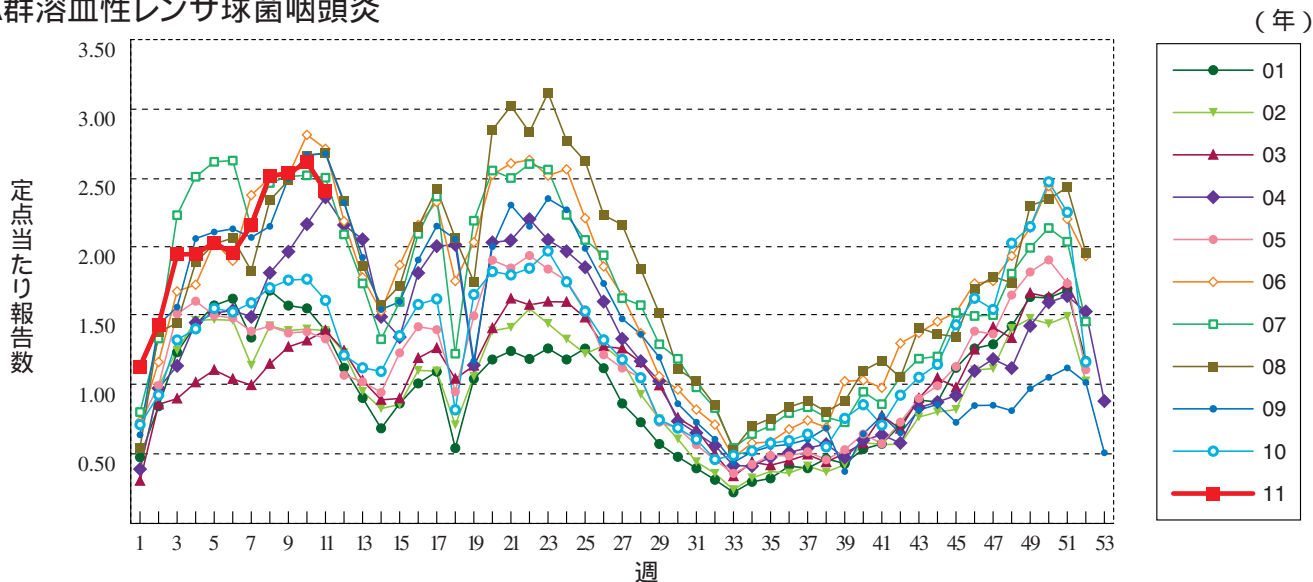
インフルエンザ



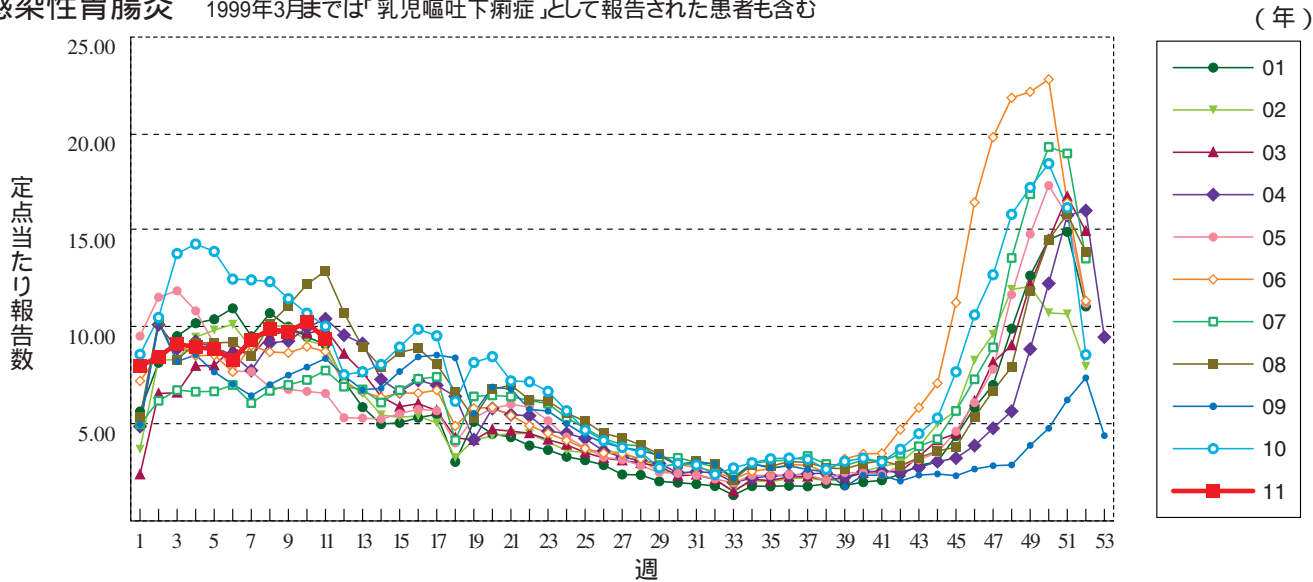
咽頭結膜熱



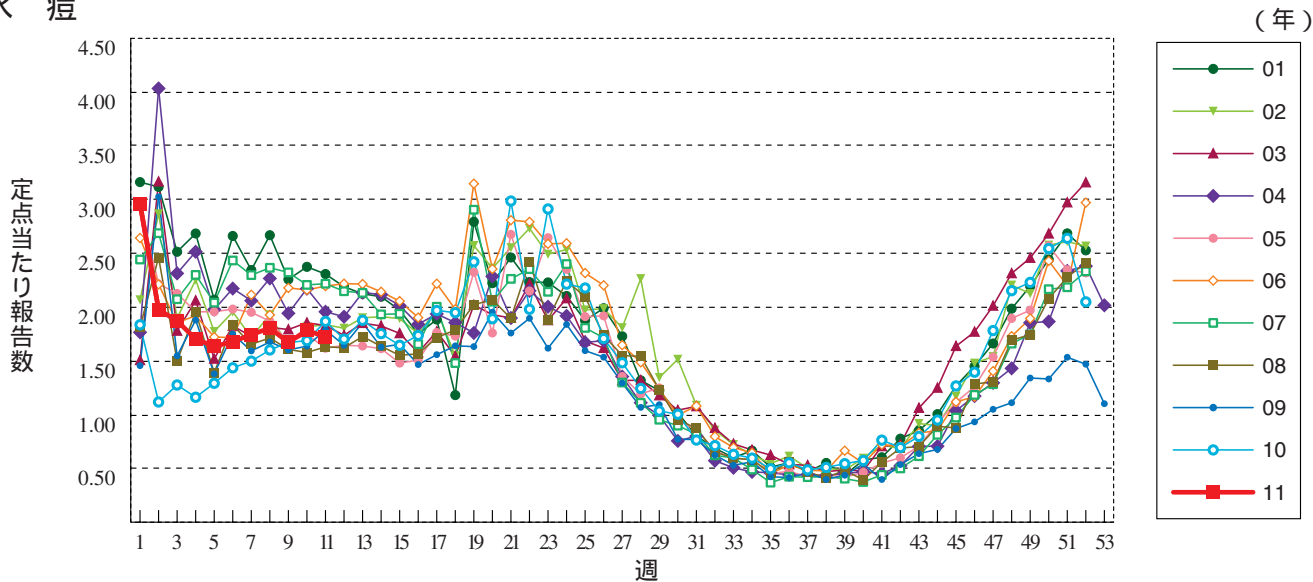
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



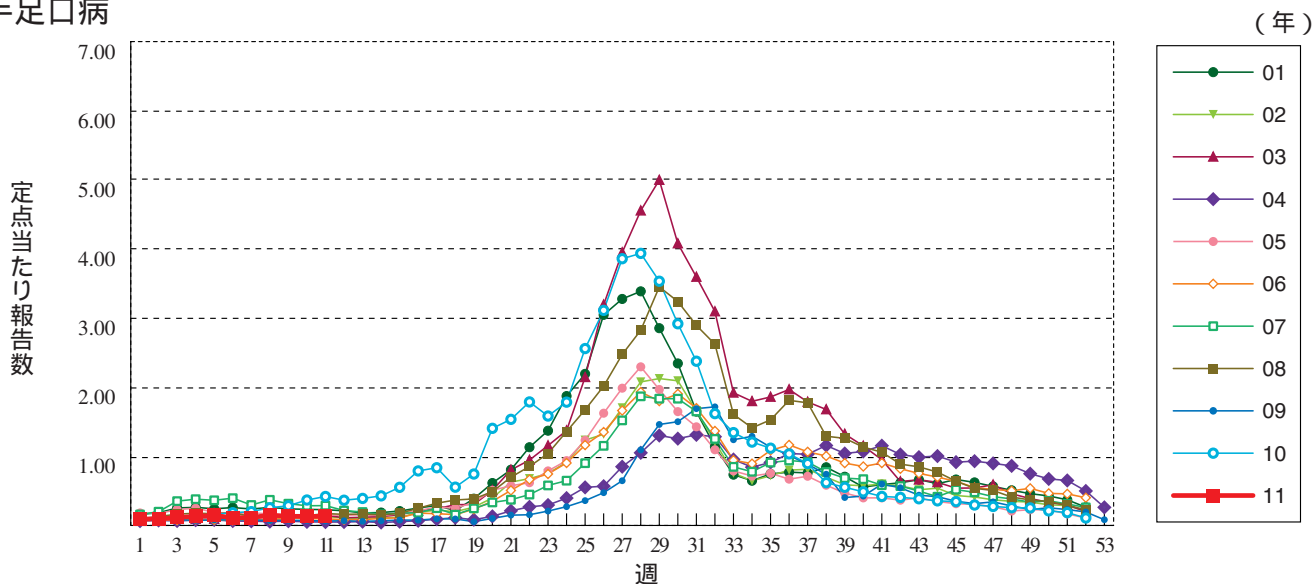
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



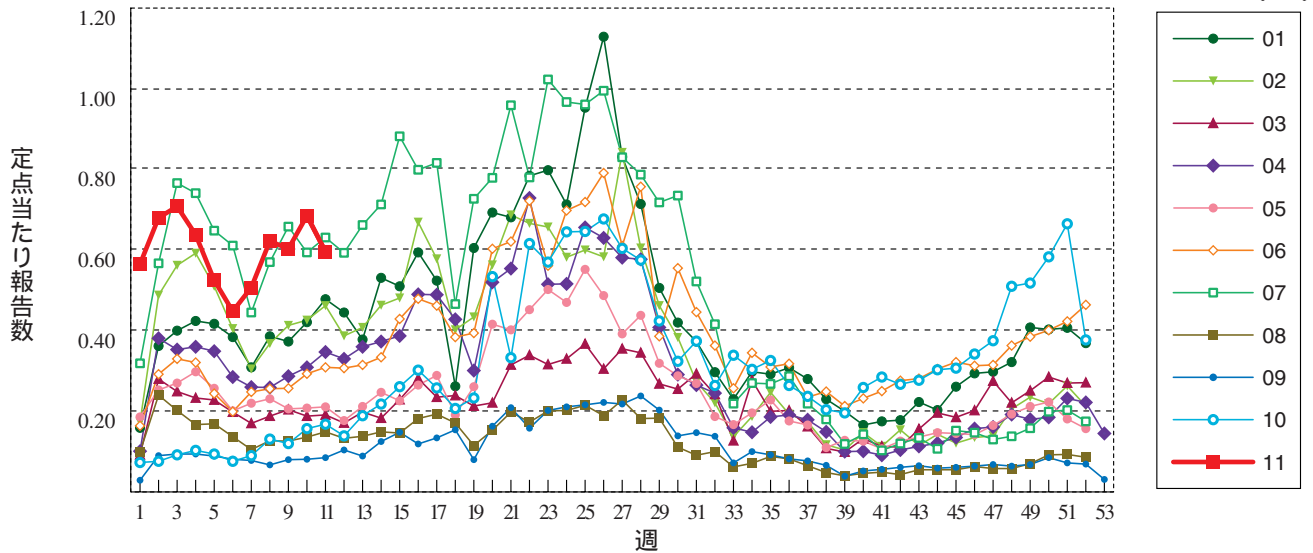
水痘



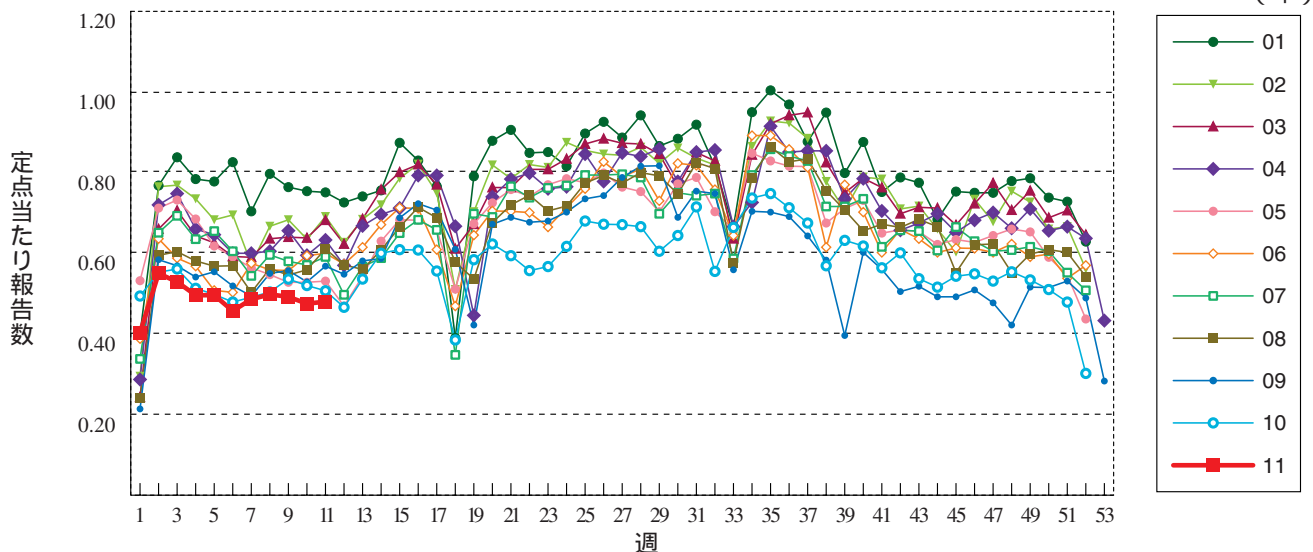
手足口病



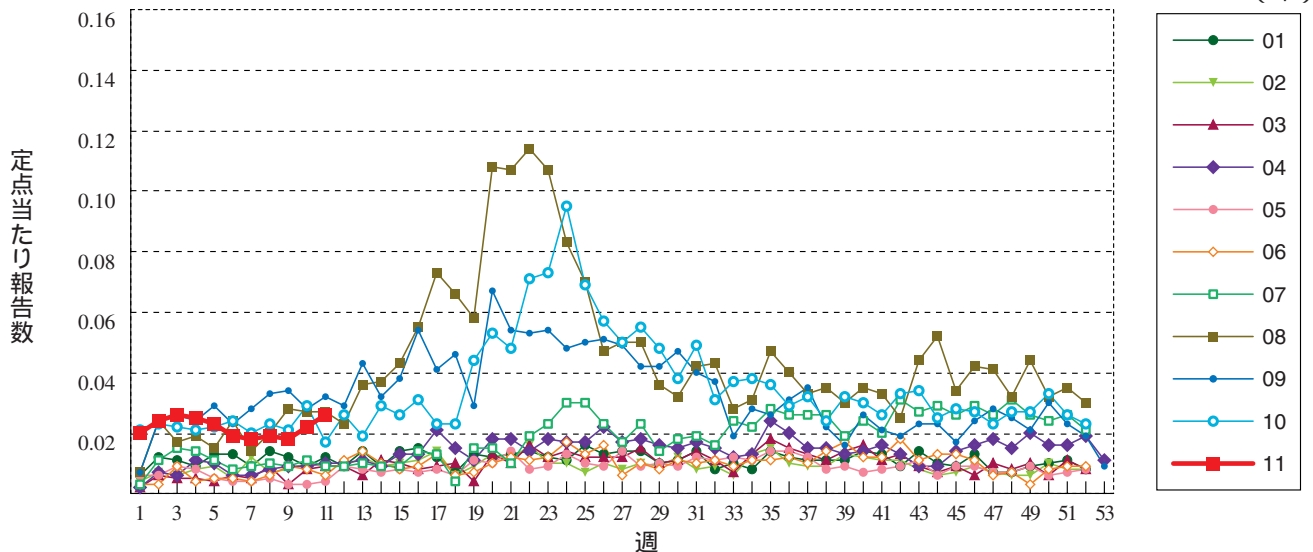
伝染性紅斑



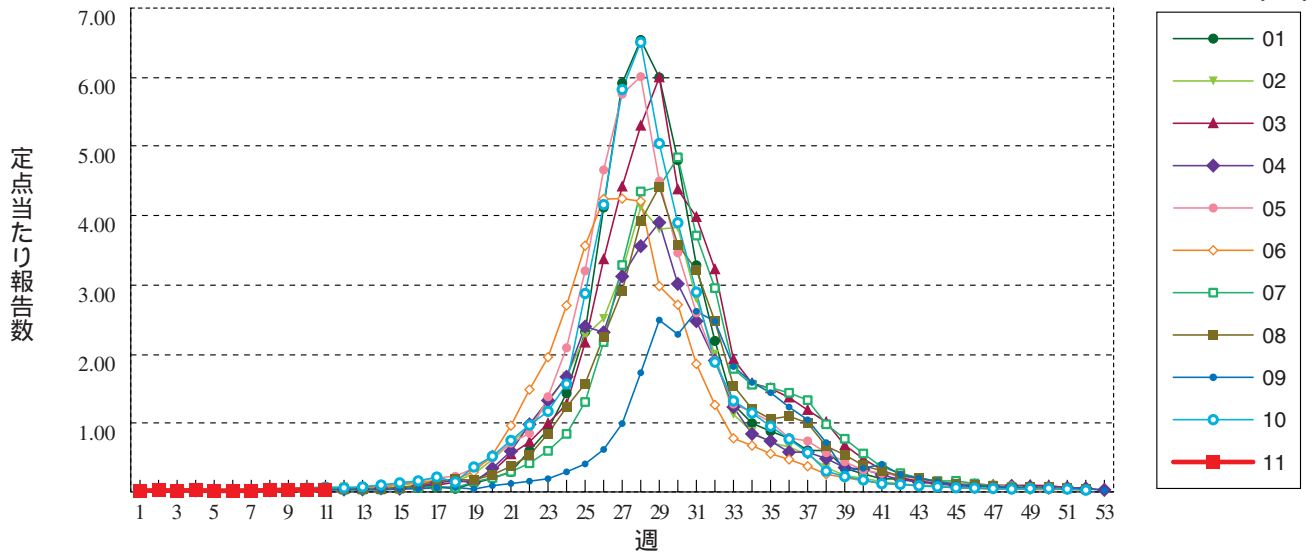
突発性発しん



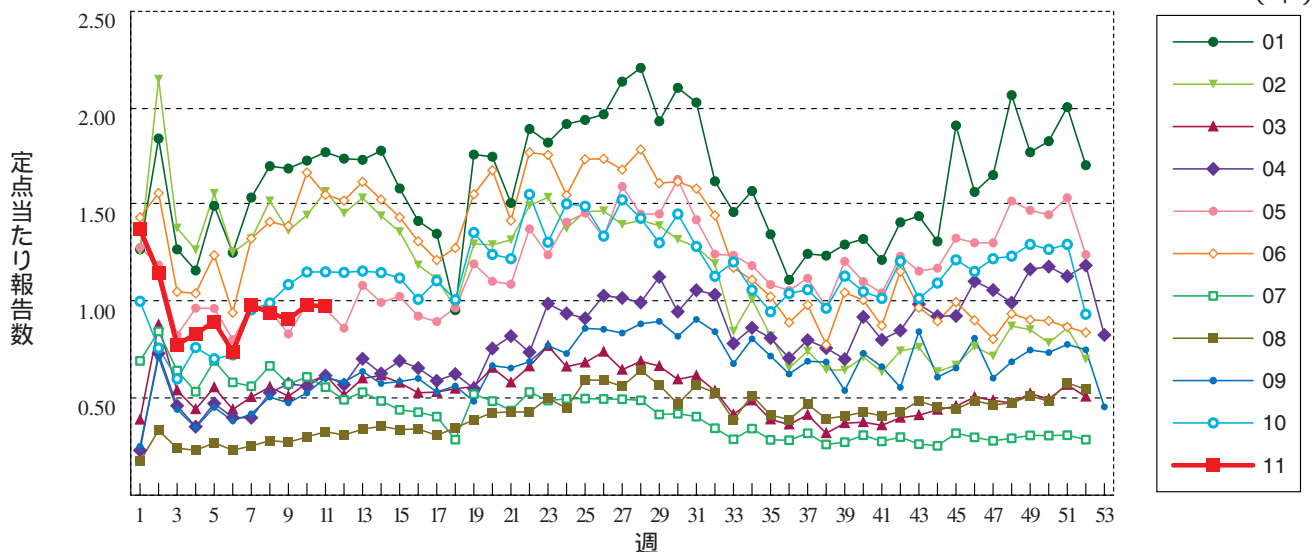
百日咳



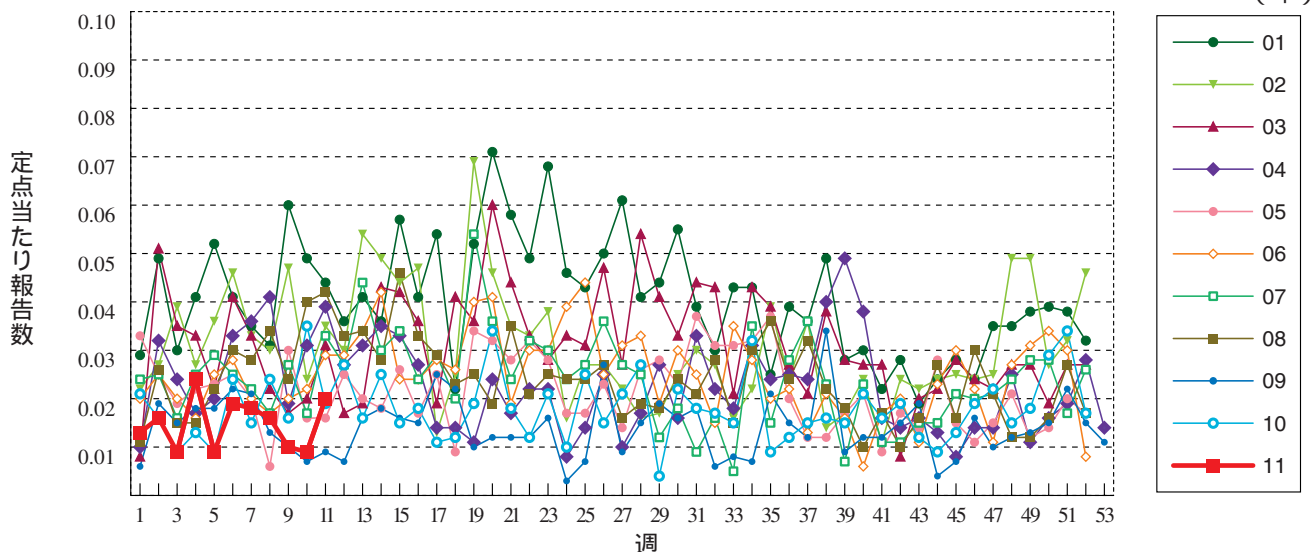
ヘルパンギーナ



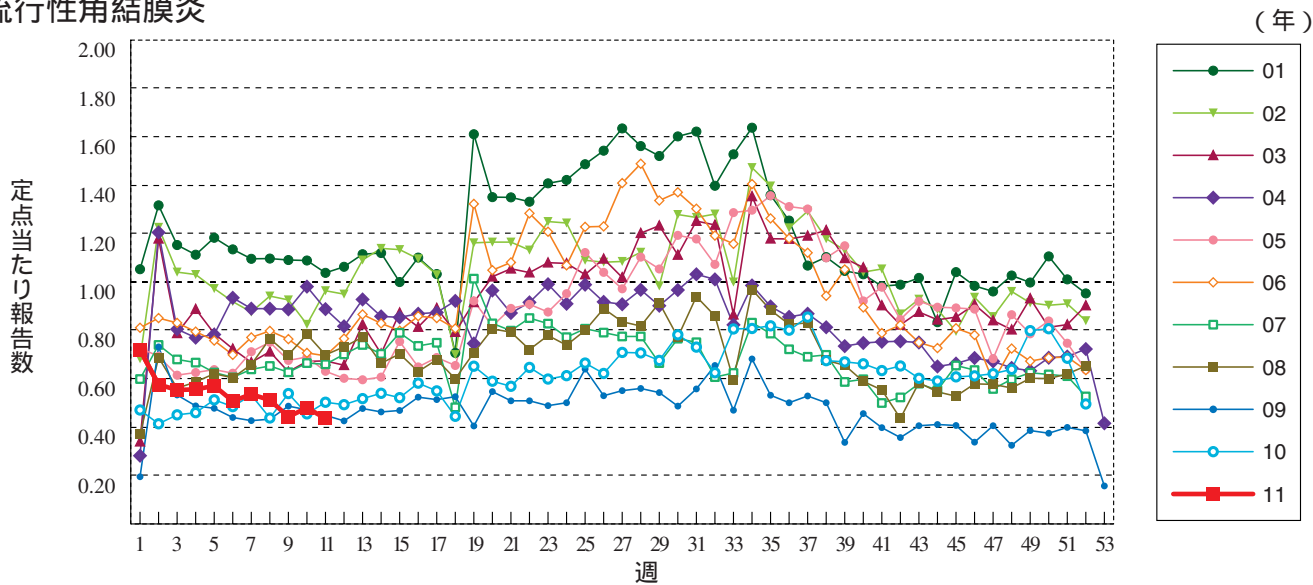
流行性耳下腺炎



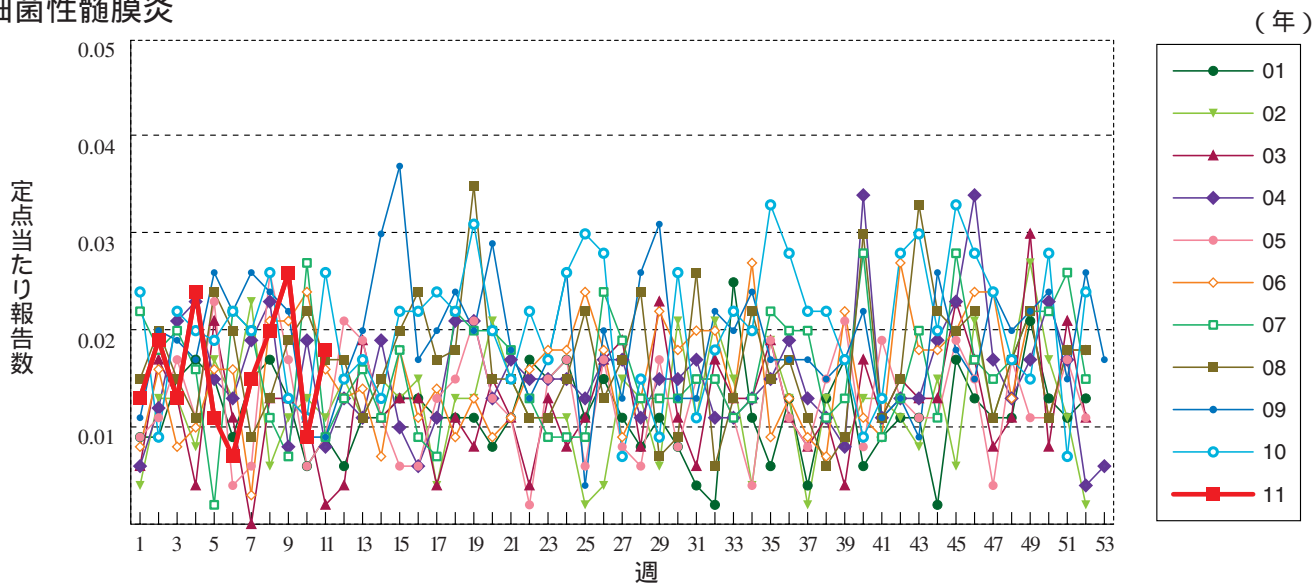
急性出血性結膜炎



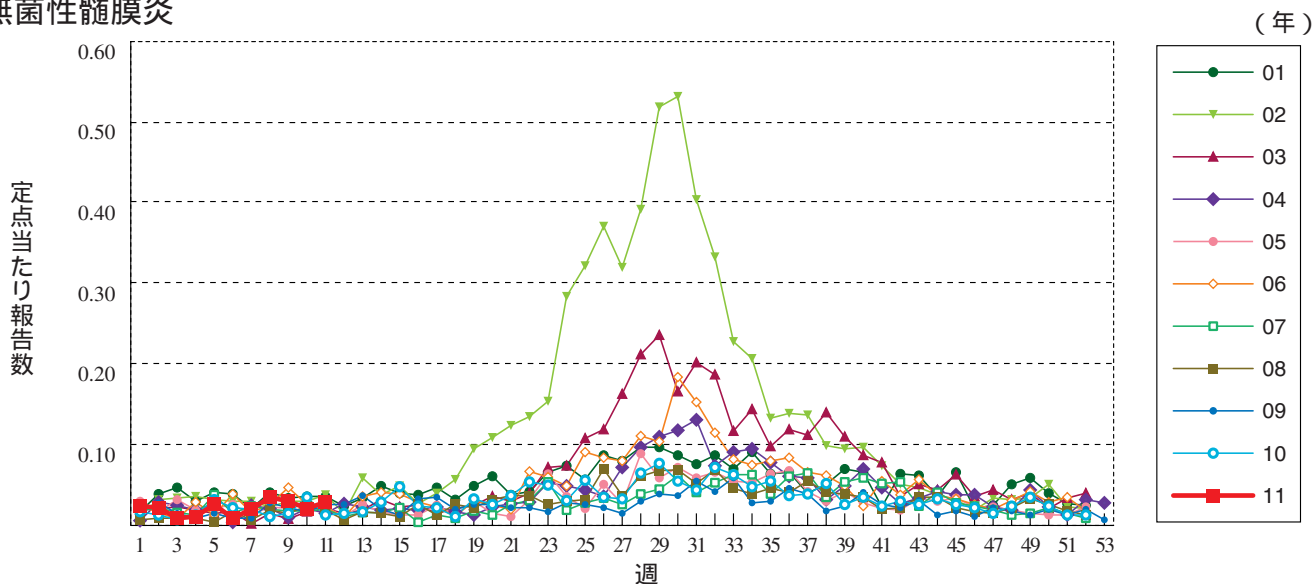
流行性角結膜炎



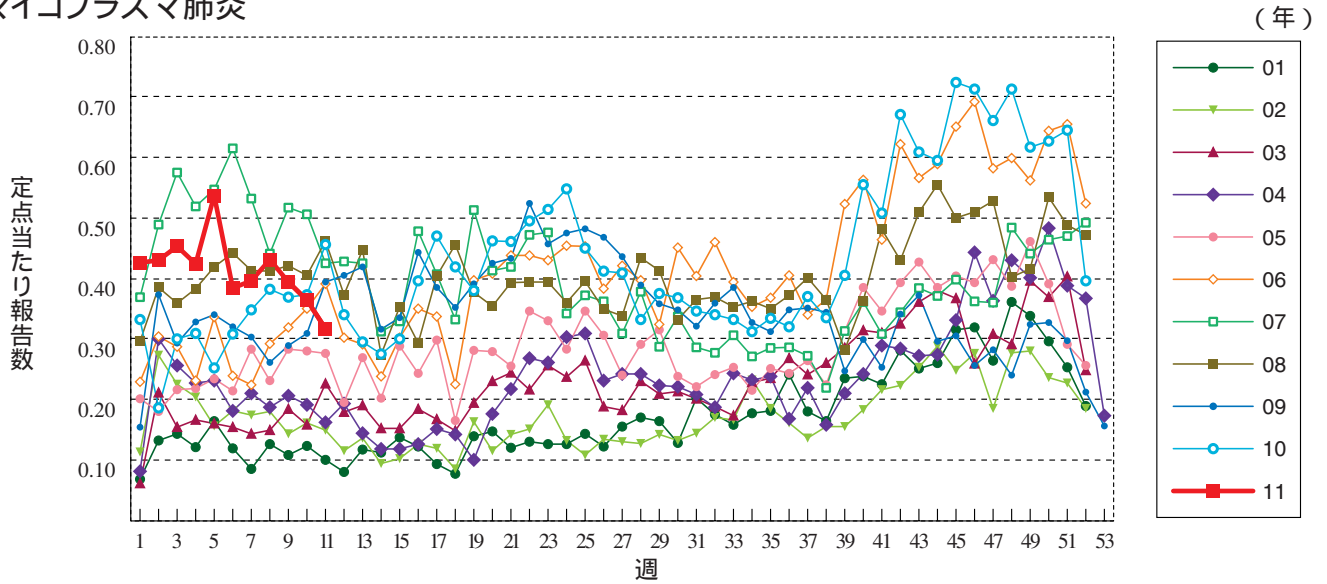
細菌性髄膜炎



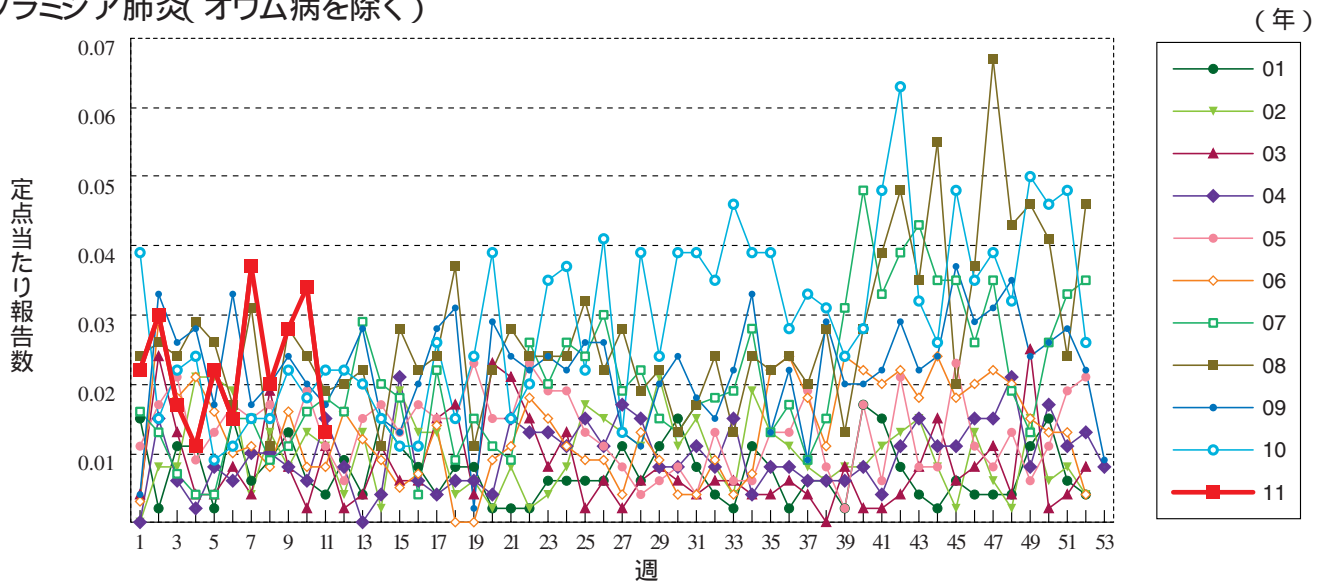
無菌性髄膜炎



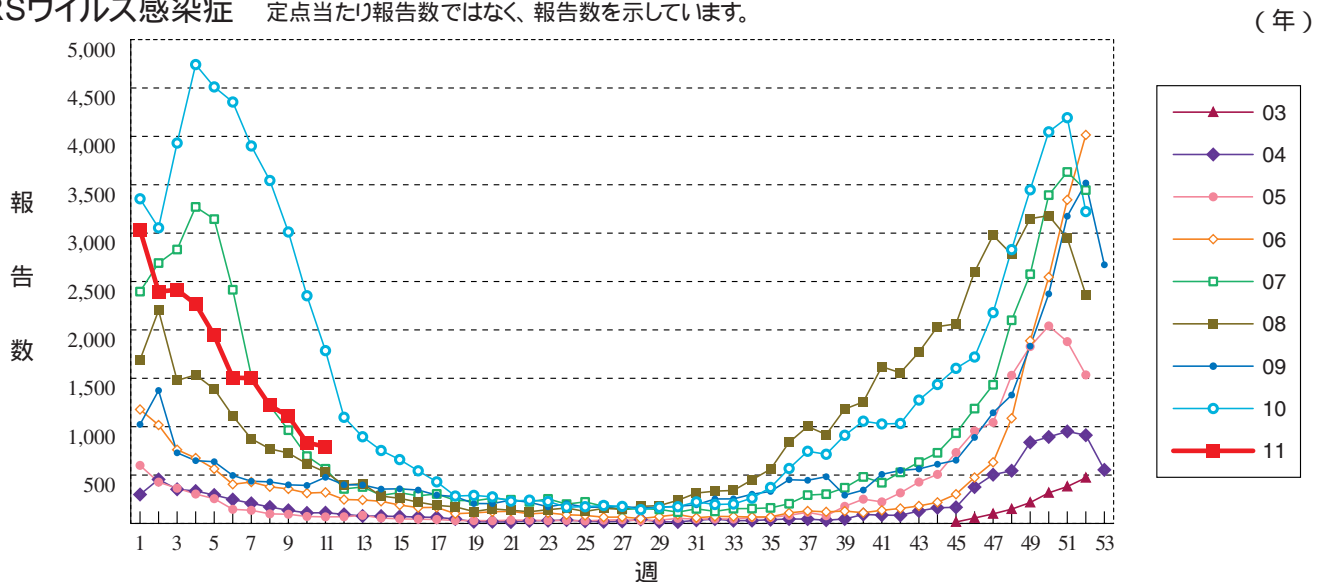
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎(オウム病を除く)



RSウイルス感染症 定ポイントあたり報告数ではなく、報告数を示しています。





11週のデータ

注) 表中の報告数は3月23日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
 新型インフルエンザは掲載していません。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2011年11週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘 瘡		南米出血熱		ペ スト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結 核	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	277	5180
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	196
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	70
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	30
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	61
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	50
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	53
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	107
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	58
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	53
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	294
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22	276
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	34	801
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	370
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	84
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	31
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	56
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	23
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	65
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	88
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	139
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35	406
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	74
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	65
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	51
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	214
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	174
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	36
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	96
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	54
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30	169
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	55
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	42
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	55
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	28
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	206
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	70
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	71
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	68
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	55
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	57
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	77
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	50

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年11週

	ジフテリア		重症急性 呼吸器症候群*		鳥インフル エンザ(H5N1)		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	6	54	9	159	-	1	-	7	-	14
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	2
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	12	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	2	15	-	-	-	5	-	4
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	7	-	-	-	1	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	4	-	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	11	-	-	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	1	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	5	-	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	5	1	5	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	1	6	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	6	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年11週

	ウエストナイル熱		A型肝炎		エキノコックス症		黄熱		オウム病		オムスク出血熱		回帰熱		キャサナル森林病		Q熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	1	85	-	7	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	49	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	11	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	1	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年11週

	狂犬病		コクシジ オイデス症		サル痘		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭疽		チクングニア熱		つつが虫病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	37
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	8
東京都	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*鳥インフルエンザ H5N1 を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年11週

	デング熱		東部ウマ脳炎		鳥インフルエンザ*		ニパウイルス感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		鼻 疽	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	4	27	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
北海道	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

2011年11週

	ブルセラ症		ベネズエラ ウマ脳炎		ヘンドラウイルス 感染症		発しんチフス		ポツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス 感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	1	8	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

**ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2011年11週

	リフトバレー熱		類鼻疽		レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山 紅斑熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプト スポリジウム症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	3	103	1	2	-	-	9	150	-	49	1	81	-	2
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	1	-	2	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2	-	-
宮城県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	-	4	-	1	-	2	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	1	-	4	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	1	7	-	-	-	3	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	12	-	4	1	9	-	-
東京都	-	-	-	-	1	7	1	2	-	-	5	35	-	6	-	6	-	1
神奈川県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	11	-	2	-	9	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	4	-	1	-	4	-	-
富山県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	1	2	-	1	-	1	-	-
石川県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
福井県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	5	-	-	-	3	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	6	-	2	-	3	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	3	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	5	-	2	-	1	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	7	-	4	-	6	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	4	-	4	-	2	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
島根県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-
高知県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	7	-	2	-	2	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	3	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年11週

	クローンツェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群		梅毒		破傷風		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	2	21	3	54	9	277	1	15	-	1	-	-	7	131	1	8	-	-
北海道	-	1	-	1	-	7	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
青森県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
埼玉県	-	2	-	2	2	10	1	1	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
千葉県	-	1	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-
東京都	-	5	-	10	5	90	-	3	-	-	-	-	2	37	-	1	-	-
神奈川県	-	-	-	6	1	12	-	1	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
富山県	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	1	-	3	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	2	-	7	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
静岡県	-	1	-	1	-	7	-	2	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
愛知県	-	-	1	2	-	18	-	2	-	-	-	-	3	10	-	-	-	-
三重県	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
京都府	-	1	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
大阪府	-	1	-	3	-	31	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-
兵庫県	-	1	-	2	-	10	-	2	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
奈良県	1	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
広島県	-	1	-	2	-	8	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
山口県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
福岡県	-	1	-	3	1	11	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-	-	-
佐賀県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	2	-	1	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	1	2	-	-
鹿児島県	1	1	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-
沖縄県	-	-	-	1	-	3	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別 2011年11週

	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		風しん		麻しん	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	10	6	30	6	77
北海道	-	-	-	-	-	2
青森県	-	-	-	-	-	2
岩手県	-	-	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	1	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	2	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	1	-	-
栃木県	-	1	-	-	1	1
群馬県	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	-	-	-	1	4
千葉県	-	2	-	5	-	7
東京都	-	-	-	2	3	20
神奈川県	-	3	-	1	1	3
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	1	1	1	-	2
静岡県	-	-	-	1	-	2
愛知県	-	-	2	2	-	5
三重県	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	2	-	4	-	1
兵庫県	-	-	-	2	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	1	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	2
広島県	-	1	-	1	-	14
山口県	-	-	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	1	-	1
高知県	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	3	4	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	1	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	-

*鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2011年11週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	82523	17.25	1171	0.38	7357	2.41	28686	9.38	5269	1.72	405	0.13	1824	0.60	1469	0.48	80	0.03
北海道	4672	20.49	43	0.30	673	4.71	674	4.71	296	2.07	8	0.06	166	1.16	49	0.34	5	0.03
青森県	755	11.62	17	0.40	35	0.83	178	4.24	78	1.86	18	0.43	23	0.55	13	0.31	-	-
岩手県	267	5.34	2	0.06	37	1.19	124	4.00	30	0.97	7	0.23	10	0.32	6	0.19	-	-
宮城県	142	1.58	-	-	17	0.30	93	1.63	35	0.61	-	-	7	0.12	9	0.16	-	-
秋田県	503	9.15	15	0.43	72	2.06	173	4.94	63	1.80	-	-	17	0.49	12	0.34	-	-
山形県	612	12.75	25	0.83	167	5.57	212	7.07	99	3.30	-	-	58	1.93	20	0.67	-	-
福島県
茨城県	838	6.98	7	0.09	117	1.56	194	2.59	90	1.20	1	0.01	28	0.37	5	0.07	-	-
栃木県	650	8.55	7	0.15	57	1.19	297	6.19	94	1.96	5	0.10	34	0.71	18	0.38	5	0.10
群馬県	1482	15.12	4	0.07	114	1.90	504	8.40	75	1.25	1	0.02	29	0.48	23	0.38	-	-
埼玉県	4894	21.28	32	0.22	322	2.21	1119	7.66	214	1.47	10	0.07	88	0.60	57	0.39	1	0.01
千葉県	3173	15.94	29	0.23	265	2.12	801	6.41	168	1.34	4	0.03	59	0.47	48	0.38	7	0.06
東京都	6263	15.28	73	0.29	509	1.99	2091	8.17	305	1.19	10	0.04	107	0.42	121	0.47	2	0.01
神奈川県	5172	16.52	46	0.23	284	1.43	1358	6.86	306	1.55	6	0.03	47	0.24	101	0.51	7	0.04
新潟県	1580	16.46	18	0.30	284	4.66	524	8.59	197	3.23	-	-	40	0.66	36	0.59	4	0.07
富山県	1163	24.23	60	2.07	94	3.24	311	10.72	53	1.83	-	-	7	0.24	8	0.28	-	-
石川県	1272	26.50	7	0.24	263	9.07	380	13.10	51	1.76	-	-	52	1.79	16	0.55	-	-
福井県	439	13.72	29	1.32	115	5.23	412	18.73	46	2.09	14	0.64	19	0.86	12	0.55	-	-
山梨県	1021	25.53	2	0.08	39	1.63	194	8.08	25	1.04	-	-	11	0.46	3	0.13	-	-
長野県	2172	24.68	2	0.04	159	2.89	503	9.15	73	1.33	1	0.02	24	0.44	22	0.40	3	0.05
岐阜県	2661	30.59	27	0.51	54	1.02	505	9.53	55	1.04	6	0.11	15	0.28	20	0.38	1	0.02
静岡県	2176	16.48	26	0.31	173	2.06	778	9.26	146	1.74	7	0.08	63	0.75	51	0.61	-	-
愛知県	6153	31.55	96	0.53	363	2.01	2064	11.40	231	1.28	18	0.10	95	0.52	109	0.60	4	0.02
三重県	2115	29.38	16	0.36	103	2.29	517	11.49	68	1.51	9	0.20	25	0.56	25	0.56	-	-
滋賀県	823	15.53	12	0.38	61	1.91	301	9.41	44	1.38	20	0.63	26	0.81	24	0.75	1	0.03
京都府	1035	8.48	6	0.08	121	1.66	705	9.66	78	1.07	4	0.05	23	0.32	26	0.36	-	-
大阪府	3620	12.15	31	0.16	485	2.49	1937	9.93	264	1.35	20	0.10	81	0.42	81	0.42	11	0.06
兵庫県	2667	13.40	135	1.05	249	1.93	1570	12.17	267	2.07	9	0.07	88	0.68	68	0.53	4	0.03
奈良県	529	9.62	10	0.29	40	1.14	223	6.37	33	0.94	-	-	26	0.74	10	0.29	-	-
和歌山県	404	8.08	10	0.32	20	0.65	268	8.65	40	1.29	21	0.68	18	0.58	14	0.45	-	-
鳥取県	339	11.69	14	0.74	101	5.32	170	8.95	37	1.95	4	0.21	13	0.68	5	0.26	-	-
島根県	739	19.45	20	0.87	80	3.48	324	14.09	24	1.04	-	-	16	0.70	11	0.48	-	-
岡山県	1796	21.38	11	0.20	41	0.76	715	13.24	66	1.22	20	0.37	8	0.15	22	0.41	1	0.02
広島県	3187	27.71	53	0.74	320	4.44	780	10.83	84	1.17	15	0.21	41	0.57	36	0.50	4	0.06
山口県	3421	48.87	36	0.73	198	4.04	459	9.37	65	1.33	3	0.06	30	0.61	34	0.69	1	0.02
徳島県	103	2.71	3	0.13	53	2.21	251	10.46	38	1.58	-	-	4	0.17	12	0.50	3	0.13
香川県	363	7.41	18	0.60	38	1.27	405	13.50	68	2.27	1	0.03	3	0.10	14	0.47	-	-
愛媛県	755	12.38	13	0.35	92	2.49	497	13.43	111	3.00	3	0.08	12	0.32	27	0.73	-	-
高知県	838	17.46	3	0.10	69	2.30	359	11.97	52	1.73	10	0.33	4	0.13	14	0.47	-	-
福岡県	5903	29.81	76	0.63	362	3.02	1749	14.58	334	2.78	64	0.53	164	1.37	97	0.81	4	0.03
佐賀県	246	6.31	18	0.78	34	1.48	285	12.39	44	1.91	6	0.26	37	1.61	15	0.65	-	-
長崎県	459	6.56	7	0.16	68	1.55	467	10.61	97	2.20	2	0.05	28	0.64	24	0.55	-	-
熊本県	710	8.88	24	0.50	82	1.71	820	17.08	110	2.29	1	0.02	30	0.63	33	0.69	1	0.02
大分県	2410	41.55	7	0.19	58	1.61	672	18.67	117	3.25	14	0.39	19	0.53	36	1.00	-	-
宮崎県	705	11.95	20	0.56	193	5.36	776	21.56	146	4.06	7	0.19	82	2.28	34	0.94	2	0.06
鹿児島県	854	9.18	43	0.78	203	3.69	811	14.75	152	2.76	8	0.15	38	0.69	37	0.67	3	0.05
沖縄県	442	7.62	18	0.53	73	2.15	136	4.00	200	5.88	48	1.41	9	0.26	11	0.32	6	0.18

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2011年11週

	ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		RSウイルス感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数
総数	86	0.03	2981	0.97	13	0.02	285	0.44	8	0.02	13	0.03	142	0.32	6	0.01	794
北海道	1	0.01	127	0.89	1	0.03	11	0.38	1	0.04	1	0.04	3	0.13	-	-	54
青森県	-	-	60	1.43	-	-	6	0.55	-	-	-	-	12	2.00	-	-	15
岩手県	3	0.10	49	1.58	-	-	2	0.18	-	-	-	-	2	0.13	-	-	8
宮城県	-	-	21	0.37	-	-	1	0.08	-	-	-	-	3	0.27	-	-	3
秋田県	-	-	8	0.23	1	0.14	1	0.14	-	-	-	-	5	0.63	-	-	10
山形県	-	-	48	1.60	-	-	7	0.88	-	-	-	-	2	0.20	-	-	5
福島県
茨城県	-	-	66	0.88	-	-	6	0.35	-	-	-	-	2	0.15	-	-	6
栃木県	1	0.02	40	0.83	-	-	2	0.17	-	-	-	-	1	0.14	-	-	8
群馬県	3	0.05	51	0.85	-	-	9	0.60	-	-	-	-	2	0.25	-	-	7
埼玉県	1	0.01	66	0.45	1	0.02	8	0.19	-	-	-	-	22	2.44	-	-	12
千葉県	4	0.03	76	0.61	1	0.03	13	0.45	-	-	-	-	1	0.11	-	-	6
東京都	2	0.01	64	0.25	1	0.03	14	0.39	1	0.05	1	0.05	10	0.48	-	-	22
神奈川県	2	0.01	101	0.51	-	-	34	0.83	-	-	-	-	-	-	-	-	11
新潟県	1	0.02	187	3.07	3	0.33	6	0.67	-	-	-	-	4	0.33	4	0.33	13
富山県	1	0.03	44	1.52	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.60	-	-	6
石川県	-	-	15	0.52	-	-	1	0.14	1	0.20	-	-	1	0.20	-	-	6
福井県	-	-	1	0.05	-	-	-	-	1	0.17	-	-	1	0.17	-	-	2
山梨県	-	-	15	0.63	-	-	4	0.44	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	233	4.24	-	-	4	0.36	-	-	-	-	4	0.36	-	-	9
岐阜県	-	-	13	0.25	-	-	2	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	7
静岡県	-	-	60	0.71	-	-	2	0.11	-	-	-	-	7	0.88	-	-	33
愛知県	4	0.02	92	0.51	-	-	2	0.06	1	0.07	-	-	6	0.40	-	-	39
三重県	2	0.04	22	0.49	-	-	1	0.08	-	-	1	0.11	-	-	-	-	11
滋賀県	15	0.47	30	0.94	-	-	1	0.13	-	-	1	0.14	1	0.14	1	0.14	5
京都府	-	-	28	0.38	-	-	5	0.29	-	-	-	-	2	0.29	-	-	5
大阪府	6	0.03	146	0.75	-	-	13	0.25	-	-	-	-	10	0.67	-	-	61
兵庫県	5	0.04	184	1.43	-	-	17	0.49	-	-	-	-	-	-	-	-	51
奈良県	1	0.03	8	0.23	-	-	12	1.33	-	-	-	-	1	0.17	-	-	2
和歌山県	1	0.03	50	1.61	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	12
鳥取県	-	-	50	2.63	-	-	3	1.00	1	0.20	1	0.20	1	0.20	-	-	6
島根県	-	-	41	1.78	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
岡山県	3	0.06	55	1.02	-	-	2	0.17	-	-	-	-	2	0.40	-	-	14
広島県	5	0.07	73	1.01	-	-	15	0.79	-	-	-	-	3	0.14	-	-	15
山口県	2	0.04	80	1.63	-	-	3	0.33	-	-	-	-	2	0.25	-	-	13
徳島県	-	-	47	1.96	-	-	1	0.25	-	-	-	-	1	0.20	-	-	20
香川県	-	-	105	3.50	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	9
愛媛県	1	0.03	43	1.16	-	-	6	0.75	-	-	-	-	3	0.50	-	-	19
高知県	1	0.03	8	0.27	-	-	1	0.33	-	-	2	0.29	1	0.14	-	-	6
福岡県	1	0.01	127	1.06	-	-	17	0.65	1	0.07	-	-	-	-	-	-	100
佐賀県	1	0.04	39	1.70	-	-	3	0.75	-	-	-	-	7	1.17	-	-	9
長崎県	1	0.02	47	1.07	5	0.63	3	0.38	-	-	1	0.08	1	0.08	-	-	9
熊本県	8	0.17	68	1.42	-	-	8	0.89	-	-	3	0.20	-	-	-	-	15
大分県	-	-	35	0.97	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.09	-	-	14
宮崎県	2	0.06	73	2.03	-	-	16	2.67	-	-	-	-	-	-	1	0.14	30
鹿児島県	7	0.13	160	2.91	-	-	1	0.14	-	-	1	0.08	3	0.25	-	-	47
沖縄県	1	0.03	25	0.74	-	-	20	2.00	1	0.14	1	0.14	12	1.71	-	-	33

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年11週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群(SARS)						結核		鳥インフルエンザ(H5N1)		細菌性赤痢	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		サル		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	58	-	3
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2011年11週

	ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-

感染症週報 第13巻 第11号 2011年4月1日発行
 発行：国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター

〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1

T E L : 03-5285-1111

F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

< 国立感染症研究所 感染症情報センター >

<http://www.mhlw.go.jp/>

< 厚生労働省 >

<http://www.forth.go.jp/>

< 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。